

目次

解説（午前問題）・・・ 1

解説（午後問題）・・・ 21

解説の見方：(1) 問題分類 午前問題 問題1～110
午後問題 問題1～110

(2) 選択肢考察 答えと各選択肢の正誤が明確になるように、○×で示した。

歯科衛生士 第31回国家試験 問題&解説書 定価 1,320円(税込)

2022年6月10日 第1刷発行

発行

DHS 歯科衛生士部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目2-25 ヘルエアプラザ3F

TEL. 011(708)7588(代表) 無料通話 0120(594)509

本書の内容を無断で複写・複製・転載すると著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。
尚、乱丁、落丁がございましたらお取り替えいたします。

*正誤情報、発行後の法令改正、最新統計、診療ガイドライン関連の情報につきましては、
弊社ウェブサイト (<http://www.rdcnet.jp/>) にてお知らせいたします。

歯科衛生士

第31回国家試験問題

解説書

DHS 歯科衛生士部

第31回 歯科衛生士 国家試験問題 解答

午前問題				午後問題			
No.	解答	出題基準	科目	No.	解答	出題基準	科目
1	b	2	解剖学	56	b	6	小児歯科学
2	c	1	生理学	57	b d	6	小児歯科学
3	b	2	解剖学	58	d	6	小児歯科学
4	d	1	生理学	59	b	6	高齢者・障害者
5	a	2	解剖学	60	c	6	高齢者・障害者
6	b	1	生理学	61	b	6	高齢者・障害者
7	a	2	解剖学	62	b	6	高齢者・障害者
8	c	1	生化学	63	a	7	歯科予防処置
9	b	3	病理学	64	a c	7	歯科予防処置
10	c	3	微生物学	65	b	7	歯科予防処置
11	d	3	薬理学	66	a d	7	歯科予防処置
12	b	3	微生物学	67	b	7	歯科予防処置
13	b	3	病理学	68	b c	7	歯科予防処置
14	c	3	薬理学	69	a	7	歯科予防処置
15	d	3	微生物学	70	c	7	歯科予防処置
16	b c	4	口腔衛生学	71	c d	7	歯科予防処置
17	a c	4	口腔衛生学	72	a d	7	歯科予防処置
18	a d	4	口腔衛生学	73	b d	7	歯科予防処置
19	a c	4	口腔衛生学	74	c	7	歯科予防処置
20	a b	4	口腔衛生学	75	b	7	歯科予防処置
21	c d	4	口腔衛生学	76	a d	7	歯科予防処置
22	a b	4	口腔衛生学	77	c	7	歯科予防処置
23	d	4	口腔衛生学	78	-	8	歯科保健指導
24	c	4	衛生・公衆衛生学	79	b	8	歯科保健指導
25	c	4	衛生・公衆衛生学	80	a c	8	歯科保健指導
26	d	4	衛生・公衆衛生学	81	b d	8	歯科保健指導
27	a	4	衛生・公衆衛生学	82	b c	8	歯科保健指導
28	d	4	衛生・公衆衛生学	83	c d	8	歯科保健指導
29	a c	4	衛生・公衆衛生学	84	a d	8	歯科保健指導
30	b	4	衛生・公衆衛生学	85	d	8	歯科保健指導
31	c	5	歯科衛生士概論	86	a c	8	歯科保健指導
32	a c	5	歯科衛生士概論	87	a d	8	歯科保健指導
33	a b	5	歯科衛生士概論	88	c d	8	歯科保健指導
34	b d	5	歯科衛生士概論	89	c	8	臨床歯科総論
35	a b	6	臨床歯科総論	90	d	8	臨床歯科総論
36	b c	6	臨床歯科総論	91	c	8	臨床歯科総論
37	a	6	臨床歯科総論	92	d	8	臨床歯科総論
38	d	6	保存修復学	93	c	8	保存修復学
39	c	6	歯周療法学	94	a d	8	歯周療法学
40	a b	6	歯内療法学	95	a	8	歯内療法学
41	a c	6	保存修復学	96	d	9	歯科診療補助
42	c d	6	歯内療法学	97	b d	9	歯科診療補助
43	b c	6	歯周療法学	98	a d	9	歯内療法学
44	b c	6	保存修復学	99	a b	9	歯科診療補助
45	d	6	歯周療法学	100	b d	9	歯科診療補助
46	a	6	歯科補綴学	101	a c	9	歯科診療補助
47	c	6	歯科補綴学	102	d	9	歯科補綴学
48	b	6	歯科補綴学	103	b	9	歯科診療補助
49	d	6	口腔外科学	104	a	9	歯科診療補助
50	a b	6	口腔外科学	105	a	9	歯科診療補助
51	a d	6	口腔外科学	106	c	9	口腔外科学
52	b c	6	口腔外科学	107	a c	9	歯科診療補助
53	c	6	矯正歯科学	108	a d	9	歯科診療補助
54	a	6	矯正歯科学	109	c d	9	歯科診療補助
55	c	6	矯正歯科学	110	b	9	歯科診療補助

午前 第78問 採点対象から除外する。選択肢が不明確で正解が得られないため。

- ※出題基準
- | | | |
|----------------------|---------------------------|-----------|
| 1 人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能 | 4 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み | 7 歯科予防処置論 |
| 2 歯・口腔の構造と機能 | 5 歯科衛生士概論 | 8 歯科保健指導論 |
| 3 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 | 6 臨床歯科医学 | 9 歯科診療補助論 |

31-A 午前問題解説

【問題 1】 口腔内写真(別冊午前 No.1)を別に示す。

矢印で示す部位から分泌される唾液を産生するのはどれか。1つ選べ。



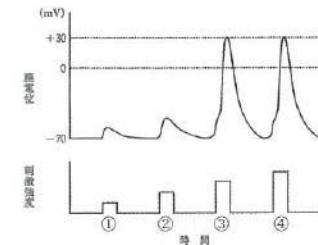
- a 顎下腺
- b 耳下腺
- c 舌下腺
- d エブネル腺

答え b

- × a 顎下腺で産生される唾液は舌下小丘から分泌される。
- b 耳下腺で産生される唾液は矢印で示す耳下腺乳頭から分泌される。
- × c 舌下腺で産生される唾液は舌下小丘および舌下ヒダから分泌される。
- × d エブネル腺は小唾液腺の1つで、有郭乳頭と葉状乳頭の溝の底部から分泌される。

【問題 2】 膜電位と刺激強度を図に示す。

閾値はどれか。



1つ選べ。

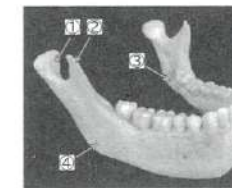
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え c

- × a、× b 刺激強度が①、②の場合、膜電位は約-60~-90mVの範囲内を示しているため、活動電位は生じていない。
- c、× d 刺激強度が③、④の場合、膜電位が+30mVで一定の値を示しているため活動電位が発生している。活動電位は閾値以上の刺激であれば、刺激の強弱に関係なく一定の形と大きさで発生するので、閾値は③である。

【問題 3】 下顎骨の写真(別冊午前 No.2)を別に示す。

側頭筋が附着するのはどれか。



1つ選べ。

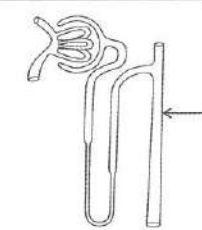
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え b

- × a ①は関節突起である。外側翼突筋が附着する。
- b ②は筋突起である。側頭筋が附着する。
- × c ③は翼突筋粗面である。内側翼突筋が附着する。
- × d ④は咬筋粗面である。咬筋が附着する。

【問題 4】 ネフロンを模式図に示す。

矢印で示す部位で水分の再吸収を促進するのはどれか。1つ選べ。



- a アドレナリン
- b オキシトシン
- c カルシトニン
- d パソプレッシン

答え d

- × a アドレナリンは副腎髄質ホルモンであり、血圧上昇、血糖値上昇、心拍数増加、心収縮力増大作用がみられる。
- × b オキシトシンは下垂体後葉ホルモンの1つで、出産時の子宮収縮作用や乳汁分泌促進作用がある。
- × c カルシトニンは甲状腺から分泌されるホルモンの1つで、血清カルシウム濃度を低下させる作用がある。
- d 図はネフロン(腎の機能的単位)で、矢印は尿細管である。パソプレッシンは下垂体後葉ホルモンの1つで、図中の腎臓の尿細管での水分の再吸収促進作用がみられる。また、血管(小動脈の平滑筋)を収縮させるので、血圧上昇作用もある。

【問題 5】 日本人における下顎永久歯の萌出順序で最も多いのはどれか。1つ選べ。

- a 1→6→2→3→4→5→7
- b 1→6→2→4→3→5→7
- c 6→1→2→5→4→3→7
- d 6→1→2→4→3→5→7

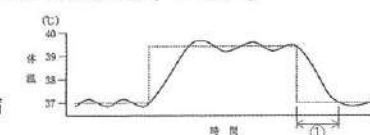
答え a

- a 日本人における下顎永久歯の萌出順序は1→6→2→3→4→5→7→8である。
- × b、× c、× d 日本人における上顎永久歯の萌出順序は6→1→2→4→3→5→7→8である。

【問題 6】 体温の変動を図に示す。実線は体温を、点線はセットポイントを示す。

①で示す時期に生じるのはどれか。1つ選べ。

- a 悪寒
- b 発汗
- c ふるえ
- d 皮膚血管収縮



答え b

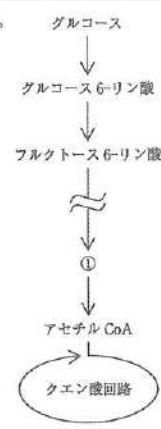
- × a、× c、× d セットポイントとは一定に保つべき温度のことである。悪寒、ふるえ、皮膚血管収縮は、体温がセットポイントより低いときに生じる。
- b ①は体温がセットポイントより高いので、体温を下げるように調節する。暑いと感じ、発汗することで体温を下降させる。

【問題 7】 乳歯のエナメル質にみられるのはどれか。1つ選べ。
 a 新産線
 b Tomes (トームス) 顆粒層
 c Owen (オーエン) の外形線
 d Andresen (アンドレーゼン) 線

答え a
 ○a 新産線は出生時の急激な変化や栄養変化などの環境変化によって生じる。乳歯と第一大臼歯のエナメル質にみられる。胎生期に形成されたエナメル質と出生時に形成されたエナメル質の境界部にみられる1本の太いレチウス条が新産線である。
 ×b Tomes (トームス) 顆粒層は象牙質表層にみられる小さな顆粒層である。
 ×c Owen (オーエン) の外形線は象牙質の成長線の1つで、石灰化の低い部分である。
 ×d Andresen (アンドレーゼン) 線は象牙質の成長線の1つで、間隔 20μm の平行線である。

【問題 8】 グルコースの代謝過程を図に示す。①はどれか。1つ選べ。

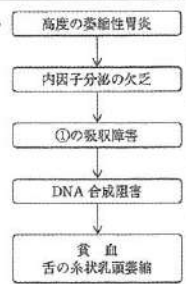
- a コハク酸
- b フマル酸
- c ピルビン酸
- d イソクエン酸



答え c
 ×a、×b、○c、×d グルコースの代謝は、グルコース→グルコース 6-リン酸→フルクトース 6-リン酸→・・・→ピルビン酸→アセチル CoA →クエン酸回路→電子伝達系という一連の過程を経て、エネルギー (ATP) を産生する。図中の①はピルビン酸なので、正解はcである。

【問題 9】 ある疾患の発症過程を図に示す。①はどれか。1つ選べ。

- a ビタミン A
- b ビタミン B₁₂
- c ビタミン D
- d ビタミン K



答え b
 ×a ビタミン A が欠乏すると、夜盲症、皮膚角化症、エナメル質や象牙質の形成不全がみられる。
 ○b ビタミン B₁₂ の吸収障害で、欠乏すると DNA 合成が阻害されて赤血球が正常に成熟せず、貧血が生じる。
 ×c ビタミン D が欠乏すると、乳幼児ではくる病、成人では骨軟化症がみられる。
 ×d ビタミン K が欠乏すると、出血傾向がみられる。

【問題 10】 垂直感染はどれか。1つ選べ。

- a 空気感染
- b 接触感染
- c 母乳感染
- d 媒介物感染

答え c
 ×a 空気感染は飛沫よりも小さい飛沫核(直径 5μm 以下の超微粒子)による感染である。
 ×b 接触感染は感染しているヒトや動物の体液や排泄物に直接接触することによる感染である。
 ○c 母乳感染は母乳を介して母体から胎児や新生児に感染する垂直感染の1つである。
 ×d 媒介物感染は動物を介して感染することである。

【問題 11】 薬物 A の性質を表に示す。

薬物 A の薬物動態に影響するのはどれか。1つ選べ。

- a 腎血流量の増加
- b 血管透過性の亢進
- c 肝薬物代謝酵素の誘導
- d 血漿タンパク質との結合

	薬物 A
血管外分布	しない
肝代謝	されない
腎糸球体濾過	されない

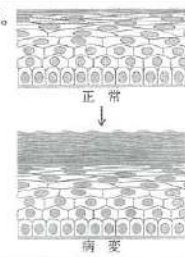
答え d
 ×a 薬物 A は腎糸球体濾過されないで、腎血流量の増加は薬物動態に影響しない。
 ×b 薬物 A は血管外分布しないので、血管透過性の亢進は薬物動態に影響しない。
 ×c 薬物 A は肝代謝されないで、肝薬物代謝酵素の誘導は薬物動態に影響しない。
 ○d 血漿タンパク質との結合は薬物 A の薬物動態に影響する。

【問題 12】 食細胞の貪食に対する細菌の抵抗要因はどれか。1つ選べ。

- a 芽胞
- b 莢膜
- c 線毛
- d 鞭毛

答え b
 ×a 芽胞はバシラス属やクロストリジウム属が形づく、乾燥、熱に対して強い抵抗力をもつ細胞構造である。
 ○b 莢膜は一部の細菌の細胞壁の外側にある粘性物質で、食細胞の貪食に対する細菌の抵抗要因と考えられている。
 ×c 線毛は鞭毛よりも短く、グラム陰性菌によくみられる。菌体の付着に関与する構造物である。
 ×d 鞭毛は細菌の運動性に関与する構造物である。

【問題 13】 口腔粘膜の変化を模式図に示す。この変化により観察されるのはどれか。1つ選べ。



- a 赤色病変
- b 白色病変
- c 潰瘍性病変
- d 水疱性病変

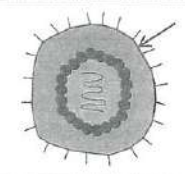
答え b
 ×a 赤色病変は粘膜が剥離して内部組織がむき出しとなり、痛みを伴うことがある。代表例として、紅板症、扁平苔癬 (白色を示すこともある)、金属アレルギー、天疱瘡、再発性アフタなどが挙げられる。
 ○b 白色病変は粘膜上皮に異常が生じると、図のように角化細胞層や有棘細胞層が厚くなり、粘膜下組織の血管が透けて見えなくなり、粘膜に当たった可視光線が乱反射し、白色にみえる。代表例として、白板症、扁平苔癬、カンジダ症が挙げられる。
 ×c 潰瘍性病変は上皮組織が欠損し、その下層の組織に至った状態である。代表例として、アフタ、ペーチェット病、褥瘡性潰瘍などが挙げられる。
 ×d 水疱性病変は表皮内もしくは表皮下に組織液が溜まって水様に透けてみえる状態である。代表例として、単純疱疹、帯状疱疹、ヘルパンギーナ、手足口病、麻疹、エイズ、天疱瘡、類天疱瘡などが挙げられる。

【問題 14】 インフルエンザに罹患した小児の鎮痛や解熱に適しているのはどれか。1つ選べ。

- a アスピリン
- b メフェナム酸
- c アセトアミノフェン
- d ジクロフェナクナトリウム

答え c
 ×a アスピリンは酸性非ステロイド性抗炎症薬の1つで、インフルエンザに罹患した小児に投与するとライ症候群を発症することがあるので投与しない。
 ×b、×d メフェナム酸とジクロフェナクナトリウムは酸性非ステロイド性抗炎症薬の1つで、アスピリンと同様に、インフルエンザに罹患した小児には禁忌である。
 ○c アセトアミノフェンは非ピリン系解熱鎮痛薬で、プロスタグランジン合成抑制作用がないので、抗炎症作用は弱いだが、インフルエンザに罹患した小児といった酸性非ステロイド性抗炎症薬の使用禁忌の症例でも使用可能である。

【問題 15】 ウイルスの模式図を示す。矢印で示すのはどれか。1つ選べ。



- a 核酸
- b カプシド
- c スパイク
- d エンベロープ

答え d
 ×a ウイルスは核酸として DNA か RNA のどちらか一方をもつ。
 ×b カプシドはウイルス核酸を被っているタンパク質である。
 ×c スパイクはエンベロープ上に存在する糖タンパク質の突起である。
 ○d エンベロープはカプシドの外側の膜構造である。

【問題 16】 安静時に比べて、刺激時に濃度が高くなる唾液成分はどれか。2つ選べ。

- a カリウム
- b アミラーゼ
- c ナトリウム
- d 分泌型 IgA

答え bc
 ×a、×d カリウムや分泌型 IgA は安静時に比べて刺激時に濃度が低くなる。
 ○b、○c アミラーゼやナトリウムは安静時に比べて刺激時に濃度が高くなる。

【問題 17】 歯磨剤の配合成分表を示す。

①に使用できるのはどれか。2つ選べ。

- a 無水ケイ酸
- b 炭酸カルシウム
- c ピロリン酸カルシウム
- d ハイドロキシアパタイト

研磨剤	配合成分 ①
潤滑剤	プロピレングリコール
発泡剤	ラウリル硫酸ナトリウム
香味剤	サッカリンナトリウム
粘結剤	オルボキシメチルセルロース
薬用成分	フッ化ナトリウム (L 450 ppmF)

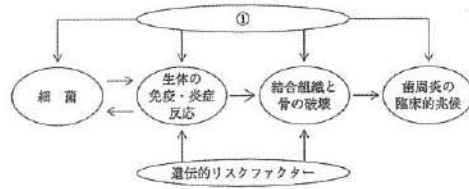
答え ac
 ○a 無水ケイ酸は歯磨剤に研磨材として配合されている。
 △b 炭酸カルシウムは歯磨剤に研磨剤として配合されているが、歯を過剰に研磨することが示唆されており、現在ではあまり用いられていない。
 ○c ピロリン酸カルシウムは歯磨剤に研磨材として配合されている。
 ×d ハイドロキシアパタイトは歯磨剤に研磨剤として配合されていない。

【問題 18】 検査当日に結果を提示できるのはどれか。2つ選べ。
 a RDテスト®
 b Dentocult® LB
 c Dentocult® SM
 d Dentobuff® Strip

答え a d

- a RDテスト® はサズリン還元性菌の活性を15分後のディスクの色調変化で評価する方法であり、検査当日に結果を提示できる。
- × b Dentocult® LBは3分間パラフィンワックスを咀嚼させた後に唾液を採取し、寒天スライドの両面に唾液を注ぎ、37°Cで4日間培養する方法であり、検査当日に結果を提示することはできない。
- × c Dentocult® SMは1分間パラフィンワックスを咀嚼させた後にストリップを舌の上に置き、唾液で濡れるようにストリップを回転させ、37°Cで48時間培養する方法であり、検査当日に結果を提示することはできない。
- d Dentobuff® Stripは5分後に唾液を滴下したテストパッドの色の変化で判定する方法であり、検査当日に結果を提示できる。

【問題 19】 歯周炎の発症モデルを図に示す。



①に該当するのはどれか。2つ選べ。

- a 喫煙
- b 内毒素
- c 口腔清掃
- d エナメル突起

答え a c

- a、○ c ①は環境的・後天的リスクファクターである。喫煙や口腔清掃は環境的・後天的リスクファクターである。
- × b 内毒素は細菌性因子の1つである。
- × d エナメル突起は部位特異的なリスクファクターである。

【問題 20】 口腔がんのリスクファクターはどれか。2つ選べ。

- a 飲酒
- b 喫煙
- c 歯周病
- d ブラキシズム

答え a b

- a、○ b 飲酒や喫煙は口腔がんのリスクファクターである。
- × c、× d 歯周病やブラキシズムは口腔がんのリスクファクターとはならない。

【問題 21】 CPI(2013年、WHO)で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 代表歯を診査する。
- b 歯石の有無を記録する。
- c 歯肉出血を2段階に分類する。
- d 歯周ポケットを3段階に分類する。

答え c d

- × a CPI(2013年、WHO)では口腔内にあるすべての歯を対象とする。
- × b CPI(2013年、WHO)では歯石の有無は記録しない。
- c CPI(2013年、WHO)ではGingival bleeding scoresとして歯肉出血を0・1の2段階に分類する。
- d CPI(2013年、WHO)ではpocket scoresとして歯周ポケットを0・1・2の3段階に分類する。

【問題 22】 地域歯科保健における市町村の役割はどれか。2つ選べ。

- a 母子への歯科保健事業
- b 歯科保健に関する計画の策定
- c 歯科保健対策に関わる人材の養成
- d 難病患者に対する専門的歯科保健対策

答え a b

- a、○ b 母子への歯科保健事業や歯科保健に関する計画の策定は「母子保健法」などに基き市町村が行う。
- × c 歯科保健対策に関わる人材の養成は「地域保健法」や「歯科口腔保健の推進に関する法律」に基き国や都道府県が行う。
- × d 難病患者に対する専門的歯科保健対策は「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基き国が行う。

【問題 23】 災害時の保健活動フェーズの一例を表に示す。フェーズ4での活動はどれか。1つ選べ。

保健活動フェーズ	フェーズ0	フェーズ1	フェーズ2 → フェーズ3 → フェーズ4
	発災から24時間以内	発災から72時間以内	フェーズの変化は状況に応じて判断
活動の場	医療救護所 避難所/テント・車中泊		避難所 仮設住宅 被災地域

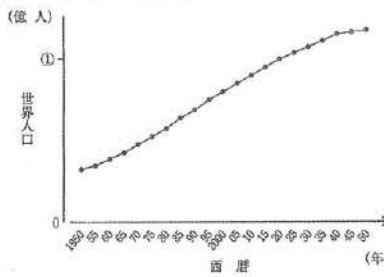
- a 傷病者救護
- b 災害拠点の設置
- c 生命・安全の確保
- d 健康な生活活動への支援

答え d

- × a 傷病者救護はフェーズ1の活動である。
- × b、× c 災害拠点の設置や生命・安全の確保はフェーズ0の活動である。
- d 健康な生活活動への支援はフェーズ4の活動である。

【問題 24】 国連が発表した世界人口の推移と将来予測を図に示す。①で示す推計値はどれか。1つ選べ。

- a 40
- b 60
- c 80
- d 100



答え c

- × a、× b、○ c、× d 国連が発表した世界人口の推移と将来予測では、2050年には97億人になると推定されているため、①で示す推計値は80(億人)と考えられる。

【問題 25】 歯科診療所の必要換気量算出に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a 一酸化炭素
- b 二酸化硫黄
- c 二酸化炭素
- d 浮遊粒子状物質

答え c

- × a、× b、× d 一酸化炭素や二酸化硫黄、浮遊粒子状物質(SPM)は大気汚染物質である。
- c 二酸化炭素は歯科診療所の必要換気量算出に用いられる。二酸化炭素濃度0.1%を室内換気の指標として用いる。

【問題 26】 前向きコホート研究と比較した患者対照研究の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 信頼性が高い。
- b 労力が大きい。
- c 研究期間が長い。
- d 稀な疾患に適している。

答え d

- × a 前向きコホート研究と比較して患者対照研究の信頼性は低い。
- × b 前向きコホート研究と比較して患者対照研究の労力は小さい。
- × c 前向きコホート研究と比較して患者対照研究の研究期間は短い。
- d 前向きコホート研究と比較して患者対照研究は稀な疾患に適している。

【問題 27】 う歯、ぜん息、鼻・副鼻腔疾患、裸眼視力1.0未満の2000年度と2019年度の学校保健統計調査結果の罹患率(%)を表に示す。

校種	調査年度	①	②	③	④
幼稚園	2000	64.4	28.7	3.3	1.3
	2019	31.2	26.1	3.2	1.8
小学校	2000	77.9	25.3	11.3	2.5
	2019	44.8	34.6	11.8	3.4
中学校	2000	76.9	50.0	9.4	1.8
	2019	34.0	57.5	12.1	2.6
高等学校	2000	85.0	62.5	7.1	1.3
	2019	43.7	67.6	9.9	1.8

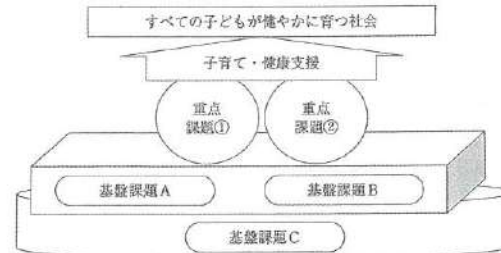
う歯はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え a

- a ①はう歯である。
- × b ②は裸眼視力1.0未満の者である。
- × c ③は鼻・副鼻腔疾患である。
- × d ④はぜん息である。

【問題 28】 我が国の保健福祉対策の概念図を示す。



これはどれか。1つ選べ。

- a 新エンゼルプラン
- b 新オレンジプラン
- c 健康日本21(第二次)
- d 健やか親子21(第2次)

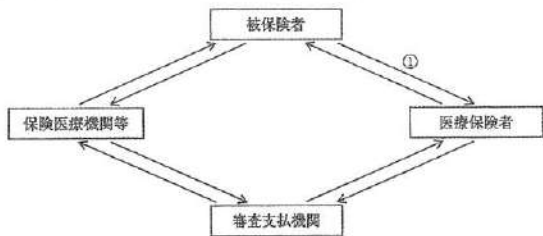
答え d

- × a、× b、× c、○ d 健やか親子21(第2次)の概念図である。健やか親子21(第2次)では、基盤課題としてA(切れ目のない妊産婦、乳幼児への保健対策)、B(学童期、思春期から成人期に向けた保健対策)、C(子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり)と重点課題として①(育てにくさを感じる親に寄り添う支援)、②(妊娠期からの児童虐待防止対策)を掲げている。

【問題 29】 歯科衛生士の業務または責務が明記されているのはどれか。2つ選べ。
 a 健康増進法
 b 高齢者の医療の確保に関する法律
 c 歯科口腔保健の推進に関する法律
 d 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律

答え a c
 ○a 「健康増進法」には国・地方公共団体・健康増進事業実施者が連携・協力して、生涯を通じた健康づくりを行っていく体制が整えられており、健康増進事業実施者に歯科衛生士が含まれる。
 ×b、×d 「高齢者の医療の確保に関する法律」や「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に歯科衛生士の業務または責務は明記されていない。
 ○c 「歯科口腔保健の推進に関する法律」には歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士その他の歯科医療または保健指導にかかわる業務に従事する者は、歯科口腔保健に資するよう、医師そのほか歯科医療など業務に関連する業務に従事する者との緊密な連携を図りつつ、適切にその業務を行うとともに、国および地方公共団体が歯科口腔保健の推進に関して講ずる施策に協力するよう努めるものとする規定されている。

【問題 30】 我が国の保険診療の概念図を示す。



①はどれか。1つ選べ。
 a 療養の給付 b 保険料の支払い
 c 診療報酬の請求 d 一部負担金の支払い

答え b
 ×a 療養の給付は「医療保険者→被保険者」である。
 ○b ①は保険料の支払いである。
 ×c 診療報酬の請求は「保険医療機関等→審査支払機関」である。
 ×d 一部負担金の支払いは「被保険者→保険医療機関等」である。

【問題 31】 歯科衛生士業務の写真(別冊午前 No. 3)を別に示す。歯科予防処置はどれか。1つ選べ。



a ① b ② c ③ d ④

答え c
 ×a ①は歯の動揺度検査を行っているところである。処置ではなく検査である。
 ×b ②は歯周ポケット検査を行っているところである。処置ではなく検査である。
 ○c ③はフッ化物歯面塗布(トレイ法)を行っているところである。フッ化物歯面塗布は歯科予防処置の1つである。
 ×d ④はスケーリング・ルートプレーニングを行っているところである。歯科診療補助として行われる。

【問題 32】 48歳の女性。歯肉からの出血を主訴として来院した。初診時医療面接での会話を示す。

歯科衛生士：こんにちは。①今日はどうなさいましたか。
 患者：歯を磨くと歯ぐきから血が出るので怖くなって来ました。
 歯科衛生士：それは心配ですね。②痛みはありますか。
 患者：痛みはありません。
 歯科衛生士：③歯磨きはどのようにしていますか。
 患者：ヘッドが小さくて、硬めの歯ブラシで磨いています。
 歯科衛生士：④歯周病予防の歯磨剤は使っていますか。
 患者：特に気にして使っていません。

下線部分で「聞かれた質問」はどれか。2つ選べ。
 a ① b ② c ③ d ④

答え a c
 ○a ①は「はい」、「いいえ」で答えられないので、「聞かれた質問」である。
 ×b ②は「はい」、「いいえ」で答えられるので、「閉ざされた質問」である。
 ○c ③は「はい」、「いいえ」で答えられないので、「聞かれた質問」である。
 ×d ④は「はい」、「いいえ」で答えられるので、「閉ざされた質問」である。

【問題 33】 歯科診療所でのインシデント報告の目的はどれか。2つ選べ。

- a 再発防止
- b 原因の究明
- c 責任の追及
- d 地域への貢献

答え a b
 ○a、○b インシデント報告の目的は原因の究明、事故発生リスクの分析、再発防止、メタ認知能力の育成などである。
 ×c、×d インシデント報告の目的に責任の追及や地域への貢献はない。

【問題 34】 嚥下サポートチームにおける各職種と業務の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 看護師——嚥下造影検査
- b 管理栄養士——食形態の調整
- c 言語聴覚士——嚥下内視鏡検査
- d 歯科衛生士——嚥下訓練

答え b d
 ×a 看護師は看護を行う。嚥下造影検査を行うのは医師、放射線技師である。
 ○b 管理栄養士は栄養評価や相談を行うほか、食品の衛生管理、助言、食形態の調整などを行う。
 ×c 言語聴覚士は言語障害、聴覚に障害がある者に構音訓練をする。摂食嚥下訓練を行う。嚥下内視鏡検査を行うのは医師である。
 ○d 歯科衛生士の業務には歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導がある。歯科衛生士は嚥下訓練を行うことができる。

【問題 35】 摂食嚥下障害のスクリーニングテストを行っている写真(別冊午前 No. 4)を別に示す。

このテストで嚥下させるのはどれか。2つ選べ。



- a 唾液
- b 冷水
- c クエン酸
- d バリウム

答え a b
 ○a、○b 摂食嚥下障害のスクリーニングテストにおいて、写真のように甲状軟骨を触知するのは、唾液を嚥下させる反復唾液嚥下テスト(RSST)と、冷水を嚥下させる改訂水飲みテスト(MWST)である。
 ×c クエン酸を用いる摂食嚥下障害のスクリーニングテストである咳テストでは、甲状軟骨を触知しない。
 ×d バリウムなどの造影剤を用いた嚥下造影検査は摂食嚥下障害の精密検査に用いるが、甲状軟骨を触知しない。

【問題 36】 エックス線画像(別冊午前 No. 5)を別に示す。

評価できるのはどれか。2つ選べ。



- a 下顎骨の左右的位置
- b 上顎骨の前後的位置
- c 中切歯の唇舌的歯軸傾斜
- d アーチレングスディスクレパンシー

答え b c
 ×a 側面頭部エックス線規格画像で下顎骨の左右的位置は評価できない。
 ○b 上顎骨の前後的位置は側面頭部エックス線規格画像で評価できる。
 ○c 中切歯の唇舌的歯軸傾斜は側面頭部エックス線規格画像で評価できる。
 ×d 側面頭部エックス線規格画像でアーチレングスディスクレパンシーは評価できない。

【問題 37】 検体検査の項目と症状の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a CRP値——炎症
- b 血小板数——貧血
- c アルブミン値——高血圧
- d ヘモグロビン量——黄疸

答え a
 ○a CRP値は炎症の検査項目である。
 ×b 血小板数は出血性素因などに関連した検査である。貧血の検査項目ではない。
 ×c アルブミン値はタンパク質代謝に関する検査である。高血圧の検査項目ではない。
 ×d ヘモグロビン量は貧血に関連した検査である。黄疸の検査項目ではない。

【問題 38】 従来型ガラスアイオノマーセメント修復において、不完全な防湿で生じるのはどれか。1つ選べ。

- a 亀裂
- b 黒変
- c 収縮
- d 白濁

答え d
 ×a、×b、×c、○d 不完全な防湿で従来型ガラスアイオノマーセメント修復を行うと、セメントが硬化中に唾液などで感水し白濁が生じる。亀裂や黒変、収縮は生じない。

【問題 39】 59歳の女性。前歯部歯肉からの出血を訴えて来院した。半年前に内科を受診し、高血圧と不整脈に対する投薬が始まってから、歯肉の腫れがひどくなったという。初診時の歯周組織検査結果の一部を図に示す。

動揺度(Millerの分類)	0	0	0	0	1	0
PPD(mm)	⑥	⑤	⑦	⑥	⑥	⑦
歯槽	3	2	1	1	2	3
PPD(mm)	⑥	④	⑤	⑥	⑥	⑥
動揺度(Millerの分類)	0	0	0	0	0	0

○印：フロービング時の出血

症状に影響していると考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 利尿薬
- b 抗凝固薬
- c カルシウム拮抗薬
- d 抗コレステロール薬

答え c
 ×a、×b、○c、×d 高血圧と不整脈に対する投薬開始後に歯肉の腫れがひどくなっていることから、長期服用により歯肉増殖が生じるカルシウム拮抗薬の影響が考えられる。利尿薬や抗凝固薬、抗コレステロール薬は考えにくい。

【問題 40】 14歳の女子。上顎左側中切歯の歯冠破折を主訴として来院した。30分前に転倒したという。自発痛はないが、冷水痛を認めた。歯髄保存療法を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前No.6)を別に示す。



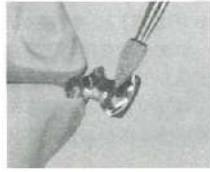
この治療で貼付するのはどれか。

- 2つ選べ。
- a MTAセメント
 - b 水酸化カルシウム製剤
 - c 酸化亜鉛ユージオールセメント
 - d HY剤配合カルボキシレートセメント

答え a b

○a、○b、×c、×d 写真をみると、歯冠が破折して点状露髄がみられるため、歯髄保存療法として直接覆髄法を行うと判断できる。直接覆髄法では、露髄部にMTAセメントや水酸化カルシウム製剤を貼付する。直接覆髄法で酸化亜鉛ユージオールセメントやHY剤配合カルボキシレートセメントを貼付することはない。

【問題 41】 チェアサイドにおける2級メタルインレー調整の写真(別冊午前No.7)を別に示す。



この操作前に行ったのはどれか。

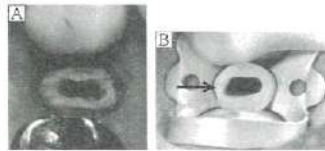
- 2つ選べ。
- a 仮封材の除去
 - b 窩洞の歯面処理
 - c 隣接面接触点の調整
 - d インレー体の内面処理

答え a c

○a、○c 2級メタルインレー調整時の写真をみると、咬合調整中であると判断できる。したがって、この操作前に行うのは、仮封材の除去や隣接面接触点の調整である。

×b、×d 窩洞の歯面処理やインレー体の内面処理は、咬合調整および仕上げ研磨が終了後、接着性レジンセメントで装着するときに行う。

【問題 42】 58歳の男性。上顎左側第二小臼歯の違和感を主訴として来院した。慢性化膿性根尖性歯周炎と診断され、感染根管治療を行うことになった。クラウンと支台築造体除去後の口腔内写真(別冊午前No.8A)とある処置後の口腔内写真(別冊午前No.8B)を別に示す。



矢印で示す部分の目的はどれか。2つ選べ。

- a 咬合の保持
- b 審美性の回復
- c 封鎖性の確保
- d 術野の汚染防止

答え c d

×a、×b、○c、○d 矢印で示す部分は、コンポジットレジンで形成した隔壁である。隔壁は感染根管治療を行うにあたり、ラバーダム防湿の封鎖性の確保や術野の汚染防止を目的として形成する。咬合の保持や審美性の回復は隔壁の目的ではない。

【問題 43】 49歳の男性。ブラッシング時の歯肉からの出血を主訴として来院した。1年前から気付いていたが放置していたという。慢性歯周炎と診断され、歯周基本治療を行った。初診時と歯周基本治療終了時の口腔内写真(別冊午前No.9A、B)と、初診時と歯周基本治療終了時の歯周組織検査結果(別冊午前No.10A、B)を別に示す。

○印：ブロービング時の出血

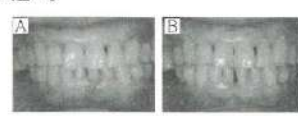
動揺度(Millerの分類)	0	0	3	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
PPD(mm)	④	④	⑤	⑤	④	③	⑤	③	⑤	④	④	④	④	③
歯種	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7
PPD(mm)	×	×	③	③	④	③	④	⑦	③	④	③	④	×	×
動揺度(Millerの分類)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	×	×	×

○印：ブロービング時の出血

動揺度(Millerの分類)	0	0	×	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PPD(mm)	3	3	×	2	3	②	③	2	3	2	3	3	3	2
歯種	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7
PPD(mm)	×	×	×	2	2	2	2	③	3	2	2	3	×	×
動揺度(Millerの分類)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

改善したのはどれか。2つ選べ。

- a 歯根露出
- b 歯肉腫脹
- c 歯肉出血
- d 歯肉肥大



答え b c

×a、○b 初診時と歯周基本治療終了時の口腔内写真を比較すると、治療により歯肉腫脹が改善していることがわかる。その結果、歯根露出が生じている部位が存在する。

○c 初診時と歯周基本治療終了時の歯周組織検査結果から、ブロービング時の歯肉出血が改善されている。

×d 初診時と歯周基本治療終了時の口腔内写真から、歯肉肥大はみられない。

【問題 44】 28歳の女性。上顎右側側切歯の着色を主訴として来院した。1年前に治療を行い、半年前から着色に気付いたという。初診時の口腔内写真(別冊午前No.11)を別に示す。



着色の原因で考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 過度の光照射
- b 窩縁斜面の不備
- c 仕上げ研磨の不足
- d 選択的エッチング

答え b c

×a 過度の光照射によってコンポジットレジン辺縁部に着色が生じるとは考えにくい。

○b、○c 写真をみると、充填されたコンポジットレジン辺縁部に着色がみられる。原因として修復時の窩縁斜面の不備や仕上げ研磨の不足が考えられる。

×d 選択的エッチングによってコンポジットレジンとエナメル質との接着性が向上する。辺縁部に着色は生じるとは考えにくい。

【問題 45】 58歳の女性。歯肉からの出血と起床時の顎の疲れを主訴として来院した。数年前から自覚していたが放置していたという。初診時の口腔内写真(別冊午前No.12)を別に示す。



上下顎前歯部にみられる歯の形態異常に関与すると考えられる習癖はどれか。1つ選べ。

- a 舌突出癖
- b タッピング
- c クレンチング
- d グラインディング

答え d

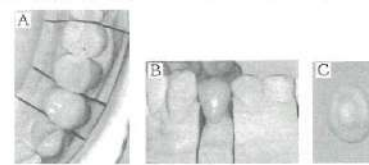
×a 舌突出癖は開咬や前歯部唇側傾斜が生じる。歯の形態異常に関与するとは考えにくい。

×b、×c、○d 起床時の顎の疲れはブラキシズムで生じやすい。ブラキシズムはタッピング、クレンチング、グラインディングに分けられる。写真をみると、上下顎前歯部に咬耗が生じて歯の形態が変化しているが、咬耗に関与するブラキシズムはグラインディングである。

【問題 46】 45歳の女性。下顎左側小臼歯部の審美障害を主訴として来院した。CAD/CAMシステムにより製作されたクラウンの写真(別冊午前No.13A、B、C)を別に示す。

合着に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a 接着性レジンセメント
- b カルボキシレートセメント
- c グラスアイオノマーセメント
- d レジン添加型グラスアイオノマーセメント



答え a

○a CAD/CAM冠はレジン系やセラミック系の材料で製作されるため、接着性レジンセメントで合着する。

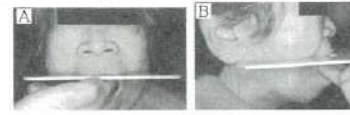
×b カルボキシレートセメントは合着用ではなく、仮着用で用いることが多い。

×c、×d グラスアイオノマーセメントやレジン添加型グラスアイオノマーセメントは全部金属冠、レジン前装冠、陶材焼付金属冠などの合着に用いられる。

【問題 47】 70歳の女性。上顎義歯の破折による咀嚼困難を主訴として来院した。使用中の義歯は10年前に装着したという。診察の結果、上下顎全部床義歯を製作することになった。治療過程の写真(別冊午前No.14A、B)を別に示す。

この操作で決定するのはどれか。1つ選べ。

- a 咬合高径
- b 口唇豊隆度
- c 仮想咬合平面
- d 水平的下顎位



答え c

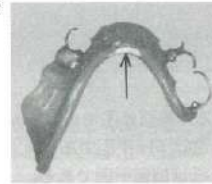
×a 咬合高径の決定には、咬合床、パラフィンワックス、ワックスパチュラのほかに、バイトゲージやデンタルノギスなどを用いる。

×b 口唇豊隆度(リップサポート)の決定には、咬合床、パラフィンワックス、ワックスパチュラを用いる。

○c 仮想咬合平面の決定には、咬合床、パラフィンワックス、ワックスパチュラのほかに、写真の咬合平面設定板、ろう堤形成板(ホットプレート)などを用いる。

×d 水平的下顎位の決定には、咬合床、パラフィンワックス、ワックスパチュラのほかに、ゴシックアーチ描記装置を用いることがある。

【問題 48】 81歳の男性。義歯舌側部に付着した白色物の除去を希望して来院した。下顎部分床義歯は1年前に装着したという。矢印で示す付着物を超音波洗浄機で除去することになった。使用中の義歯の写真(別冊午前No.15)を別に示す。



併用するのはどれか。1つ選べ。

- a 温湯
- b 酸性溶液
- c 中性洗剤
- d アルコール

答え b

×a 矢印は義歯に付着した歯石を示している。温湯を併用しても除去できない。熱湯を用いるとレジン床の変形、変質が生じる。

○b 酸性溶液と超音波洗浄機の併用が歯石除去に最も効果的である。

×c 中性洗剤は洗浄力が弱いので歯石を除去できない。

×d アルコールを用いるとレジン床の変形、変質が生じる。

【問題 49】 35 歳の女性。下顎右側の疼痛を主訴として来院した。1 週前から大臼歯部の疼痛を自覚していたが、昨夜は疼痛が増強して眠れず、現在まで 38.5℃ の発熱があるという。検査を行っている写真（別冊午前 No. 16）を別に示す。



- この検査で把握できるのはどれか。
1 つ選べ。
a 骨瘻孔
b 腐骨分離
c 下歯槽神経の知覚鈍麻
d 多数歯の打診痛（弓倉症状）

答え d

- × a 1 週前から大臼歯部の疼痛を自覚し、昨夜は疼痛が増強して眠れず、38.5℃ の発熱があることから、急性化膿性根尖性歯周炎、急性顎骨髄炎、急性顎骨髄炎のいずれかが疑われる。骨瘻孔は慢性顎骨髄炎でみられる所見で、視診で把握できる。
× b 腐骨分離は慢性顎骨髄炎でみられる所見で、エックス線検査で把握できる。
× c 下歯槽神経の知覚鈍麻（ワンサン症状）は急性顎骨髄炎でみられる所見で、触診や二点識別覚検査で把握できる。
○ d 多数歯の打診痛（弓倉症状）は急性顎骨髄炎でみられる所見で、写真のように器具で歯を叩いて検査する。

【問題 50】 10 歳の女児。口唇の異常を主訴として来院した。3 日前に気付いたが痛みはないという。初診時の口腔内写真（別冊午前 No. 17）を別に示す。



- 病変は、①下唇の粘膜に生じた②ドーム状の隆起性病変であり、③多発性を示す。表面は正常な粘膜で被覆され、透明感のある青紫色の色調を呈している。その周囲は④潰瘍がみられる。下縁部分で適切なのはどれか。
2 つ選べ。
a ①
b ②
c ③
d ④

答え a b

- a、○ b 下口唇の無痛性の病変は口腔内写真から粘液嚢胞と考えられる。粘液嚢胞はドーム状の隆起性病変で、表面は正常な粘膜で被覆され、透明感のある青紫色の色調を呈している。
× c 粘液嚢胞は多発性を示すことはない。
× d 粘液嚢胞の周囲に潰瘍がみられることはない。

【問題 51】 下顎埋伏智歯の抜去時に起こり得る局所的偶発症はどれか。2 つ選べ。

- a 開口障害
b 抜去歯の誤飲
c 局所麻酔薬中毒
d オトガイ部の知覚麻痺

答え a d

- a 抜歯後に炎症が咀嚼筋に波及すると開口障害が生じる。
△ b 抜去歯の誤飲も起こり得るが、下顎智歯を軟組織に迷入させるほうが起こりやすい。
× c 局所麻酔薬中毒は全身の偶発症の 1 つである。
○ d オトガイ部の知覚麻痺は下顎埋伏智歯の抜去時に下歯槽神経を損傷した場合に生じる。

【問題 52】 55 歳の男性。舌癌のため、全身麻酔下で舌部分切除術を受けることになった。化学療法と放射線療法の予定はない。歯科医師から専門的口腔衛生処置を行うよう指示を受けた。

- これにより予防できるのはどれか。2 つ選べ。
a 口腔乾燥
b 誤嚥性肺炎
c 手術創感染
d 唾液分泌障害

答え b c

- × a、× d 化学療法と放射線療法の予定はないので、唾液分泌障害による口腔乾燥は生じにくいと考えられる。
○ b、○ c 専門的口腔衛生処置により、口腔内細菌は減少するので、誤嚥性肺炎や手術創感染を予防できる。

【問題 53】 8 歳の女児。前歯部反対咬合を主訴として来院した。矯正装置を装着したときの側貌写真（別冊午前 No. 18）を別に示す。装置の治療効果はどれか。1 つ選べ。

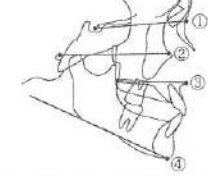


- a 上顎前歯の唇側移動
b 上顎骨の前方成長促進
c 下顎骨の前方成長抑制
d 上顎歯槽基底部の側方拡大

答え c

- × a 上顎前歯の唇側移動はリングアーチなどが用いられる。
× b 上顎骨の前方成長促進は上顎前方牽引装置が用いられる。
○ c 写真の装置はチンキャップである。前歯部反対咬合を主訴としており、チンキャップにより下顎骨の前方成長抑制を行っていると考えられる。
× d 上顎歯槽基底部の側方拡大は急速拡大装置が用いられる。

【問題 54】 頭部エックス線規格写真のトレース図と基準（計測）平面を示す。



- SN 平面はどれか。1 つ選べ。
a ①
b ②
c ③
d ④

答え a

- a SN 平面は①である。
× b ②は FH 平面である。
× c ③は口蓋平面である。
× d ④は下顎下縁平面である。

【問題 55】 11 歳の男児。上顎前歯部の凸凹を主訴として来院した。初診時の口腔内写真（別冊午前 No. 19）を別に示す。Hellman の歯齢はどれか。1 つ選べ。



- a II C 期
b III A 期
c III B 期
d III C 期

答え c

- × a II C 期は第一大臼歯および前歯萌出開始期である。
× b III A 期は第一大臼歯完了あるいは前歯萌出中または萌出完了期である。
○ c III B 期は側方歯群交換期である。写真を見ると、犬歯の交換が生じているため、III B 期である。
× d III C 期は第二大臼歯萌出開始期である。

【問題 56】 臨床で用いるフッ化ジアンミン銀溶液について正しいのはどれか。1 つ選べ。

- a 黒色の溶液である。
b 38 % の溶液である。
c イオン導入法で用いる。
d う蝕発生予防に用いる。

答え b

- × a フッ化ジアンミン銀溶液は無色透明の溶液である。
○ b フッ化ジアンミン銀溶液は 38 % の溶液である。
× c イオン導入法でフッ化ジアンミン銀溶液は用いられない。
× d フッ化ジアンミン銀溶液はう蝕進行抑制に用いる。

【問題 57】 広範囲の乳白歯う蝕に対する処置を行った。処置中のある操作の写真（別冊午前 No. 20）を別に示す。



- この操作後、使用するのはどれか。
2 つ選べ。
a ラウンドバー
b シリコンポイント
c ダイヤモンドポイント
d カーボランダムポイント

答え b d

- × a ラウンドバーはう蝕の除去などに用いる。
○ b、○ d 写真を見ると、既製金属冠の歯頸部を冠バサミで調整している。この操作後には、シリコンポイントやカーボランダムポイントを用いて研磨する。
× c ダイヤモンドポイントは支台歯形成などに用いる。

【問題 58】 7 歳の男児。定期診査で来院した。上顎右側臼歯部の口腔内写真（別冊午前 No. 21）を別に示す。



- この装置について正しいのはどれか。1 つ選べ。
a 可撤式である。
b 装置変更は不要である。
c 歯体移動を目的とする。
d 適応は 1 歯欠損である。

答え d

- × a クラウンループは支台歯にセメントで合着するものであり、可撤式ではない。
× b クラウンループは保険装置であるが、一般的に保険装置は歯の萌出や顎骨成長などに伴って変更が必要である。
× c 歯体移動を目的とするのは矯正装置であり、保険装置であるクラウンループは歯の移動を目的としていない。
○ d クラウンループの適応は 1 歯欠損である。

【問題 59】 偽性球麻痺の原因となる脳の障害部位はどれか。1 つ選べ。

- a 片側の大脳
b 両側の大脳
c 中脳
d 小脳

答え b

- × a 片側の大脳が障害されると片麻痺がみられる。
○ b 延髄より上位の脳幹部や大脳皮質（両側の大脳）が障害されると、偽性（仮性）球麻痺がみられる。
× c、× d 中脳や小脳が障害されても偽性球麻痺はみられない。

【問題 60】 71 歳の男性。脳梗塞の既往があり、口腔機能の評価をしたところ舌突出時に偏位が認められた。口腔内写真（別冊午前 No. 22）を別に示す。



- 舌の偏位の原因となる神経はどれか。1 つ選べ。
a 顔面神経
b 三叉神経
c 舌下神経
d 迷走神経

答え c

- × a 顔面神経は表情筋の運動を司る神経である。
× b 三叉神経は顔面の感覚を司る神経である。
○ c 舌下神経は舌の運動を司る神経である。脳梗塞の既往があり、口腔内写真から舌突出時の偏位がみられるため、舌下神経が障害されていると考えられる。
× d 迷走神経は喉頭や喉頭の運動や感覚を司る神経である。

【問題 61】 障害のある人に対する就職や制度面での障壁はどれか。1 つ選べ。

- a 物理的障壁
b 社会的障壁
c 心理的障壁
d 文化・情報の障壁

答え b

- × a 物理的障壁は建物や道路など環境面にある障壁である。
○ b 社会的障壁は就職や制度面での障壁である。
× c 心理的障壁は無理解や偏見などの障壁である。
× d 文化・情報の障壁は目や耳の不自由な人たちに情報が十分に届かないという障壁である。

【問題 62】 軽度精神発達遅滞の患児に対する歯科診療トレーニングの写真(別冊午前 No.23)を別に示す。

この行動療法はどれか。1つ選べ。

- a カウント法
- b Tell-Show-Do 法
- c TEACCH プログラム
- d トークンエコノミー法



答え b

- × a カウント法は短時間しか我慢できない患者に対してあらかじめ約束した時間をカウントしながら体験させる行動療法である。
- b Tell-Show-Do 法は具体的に患者に説明し、実際と同じように見せ、見せたとおりに実際に行う行動療法である。歯科診療トレーニングの写真では患児が手鏡をもち、実際の歯科診療を見ているため、Tell-Show-Do 法を行っていると考えられる。
- × c TEACCH プログラムは自閉症スペクトラムの患者に対して行う行動療法である。
- × d トークンエコノミー法はあらかじめ約束した行動ができたときにトークンを与え、一定量貯まったときにほかのものに交換できる行動療法である。

【問題 63】 高値になると歯周基本治療の效果に影響を与えるのはどれか。1つ選べ。

- a HbA1c
- b HCV 抗体
- c ヘマトクリット
- d HDL コレステロール

答え a

- a HbA1c は糖尿病のコントロールの指標である。糖尿病と歯周炎は相互に影響を与えており、HbA1c が高値になると歯周基本治療の效果に影響を与える。
- × b、× c、× d HCV 抗体やヘマトクリット、HDL コレステロールが高値になると歯周基本治療の效果に影響を与えるとは考えにくい。

【問題 64】 小窩裂溝填塞の適応はどれか。2つ選べ。

- a 盲孔
- b 根面溝
- c 中心結節
- d エナメル突起

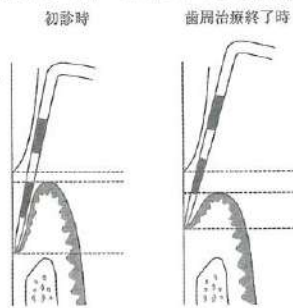
答え a c

- a 盲孔はう蝕の好発部位であり、小窩裂溝填塞の適応である。
- × b 根面溝は小窩裂溝填塞の適応でない。
- c 中心結節は破折予防のため、中心結節周囲に小窩裂溝填塞を適用するとよい。
- × d エナメル突起は小窩裂溝填塞の適応でない。

【問題 65】 初診時と歯周治療終了時の同一歯に対する歯周組織検査の図を示す。

アタッチメントゲイン(mm)はどれか。1つ選べ。

- a 0
- b 2
- c 4
- d 6



答え b

- × a、○ b、× c、× d 歯周組織検査の図から、初診時のアタッチメントレベルは7mm、歯周治療終了時のアタッチメントレベルは5mmと判断できるため、アタッチメントゲインは2mmである。

【問題 66】 加齢に伴う唾液減少が原因で生じるのはどれか。2つ選べ。

- a 口臭
- b 咬耗
- c 顎関節症
- d 味覚障害

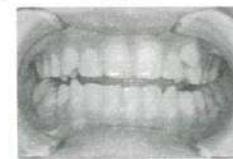
答え a d

- a、○ d 加齢に伴う唾液減少は、口臭や味覚障害が生じる原因となる。
- × b、× c 加齢に伴う唾液減少が原因で咬耗や顎関節症が生じるとは考えにくい。

【問題 67】 15歳の女子。前歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.24)を別に示す。

PMA index(前歯部法)の下顎のスコアに最も近いのはどれか。1つ選べ。

- a 2点
- b 6点
- c 10点
- d 17点



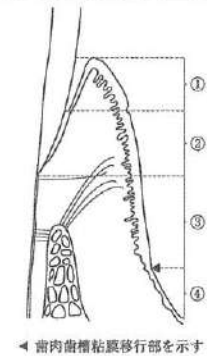
答え b

- × a、○ b、× c、× d PMA index(前歯部法)は歯肉を歯間乳頭部、辺縁歯肉、付着歯肉に分類して炎症の広がり程度を評価するものである。写真を見ると、歯間乳頭部(5か所)に炎症がみられるので、下顎のスコアに最も近いのは6点である。

【問題 68】 健康な歯肉組織を模式図に示す。

ステッピングがみられるのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



◀ 歯肉歯槽粘着移行部を示す

答え b c

- × a ①は辺縁歯肉である。
- b、○ c ステッピングがみられるのは付着歯肉であるが、付着歯肉は遊離歯肉溝から歯肉歯槽粘着移行部までである。したがって、ステッピングがみられるのは②と③である。
- × d ④は歯槽粘膜である。

【問題 69】 小児のう蝕予防で、フッ化物洗口と比較したフッ化物歯面塗布の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 適応年齢が低い。
- b 方法が簡便である。
- c 保護者によって実施される。
- d 使用薬剤を薬局で購入できる。

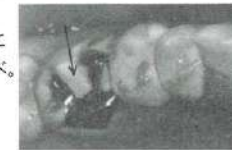
答え a

- a 4歳以降に推奨されるフッ化物洗口と比較して、フッ化物歯面塗布は低年齢児に適用できることが特徴である。
- × b プロフェッショナルケアであるフッ化物歯面塗布と比較すると、セルフケアとして利用できるフッ化物洗口は方法が簡便である。
- × c セルフケアとして利用できるフッ化物洗口は、保護者によって実施される。
- × d セルフケアとして利用できるフッ化物洗口では、使用薬剤を薬局で購入できる。

【問題 70】 12歳の男児。学校歯科健康診断で「G」と判定されて来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.25)を別に示す。歯科医師から超音波スケーラーを使用しての歯石除去を指示された。

矢印で示す部位を除去するときに留意すべきなのはどれか。1つ選べ。

- a 咬頭の摩耗
- b チップの破損
- c 修復物の脱離
- d 象牙質知覚過敏



答え c

- × a、× b、○ c、× d 写真の矢印の部位をみると、メタルインレーが装着されている歯の咬合面に歯石が沈着しているのがわかる。したがって、超音波スケーラーを使用して歯石除去を行う際には修復物の脱離に留意すべきである。矢印で示す部位の歯石を除去する際に、咬頭の摩耗やチップの破損、象牙質知覚過敏に留意すべきとは考えにくい。

【問題 71】 34歳の女性。冷たいものが歯にしみることを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.26)を別に示す。しみるのが強い部分を矢印で示す。

主訴の原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

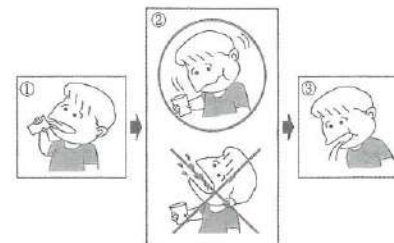
- a う蝕
- b 歯石
- c 歯列不正
- d 外傷性咬合



答え c d

- × a、× b 写真の矢印の部位に明らかなう蝕や歯石はみられず、主訴の原因として考えにくい。
- c、○ d 矢印の部位は歯肉が退縮しており、冷たいものが歯にしみる原因として歯肉退縮による象牙質知覚過敏症が考えられる。したがって、主訴の原因として、歯肉退縮に関する歯列不正や外傷性咬合が考えられる。

【問題 72】 保育園の5歳児クラスでフッ化物洗口を行うことになった。園児に説明をするために作成した媒体の一部を図に示す。



②の目的はどれか。2つ選べ。

- a 誤飲の防止
- b 口腔粘膜の保護
- c 溶液の毒性低下
- d う蝕予防効果の向上

答え a d

- a、× b、× c、○ d ②の図をみると、上を向かず、下を向いた姿勢でうがいを行う説明図であると判断できる。その目的は洗口液の誤飲の防止やう蝕予防効果の向上である。口腔粘膜の保護や溶液の毒性低下が目的とは考えにくい。

【問題 73】 ポケットブローピングで確認できるのはどれか。2つ選べ。

a 歯の動揺度
b 歯周組織の破壊程度
c 歯肉縁下プラーク量
d ポケット内壁の炎症

答え b d

× a、× c 歯の動揺度や歯肉縁下プラーク量はポケットブローピングで確認できない。
○ b 歯周組織の破壊程度はポケットブローピングによるアタッチメントレベルで確認できる。
○ d ポケット内壁の炎症はポケットブローピング時の出血 (BOP) で確認できる。

【問題 74】 10歳の男児。男児の通う小学校では毎週木曜日の昼食後、溶液10mLを用いてフッ化物洗口を実施している。フッ素の口腔内残留量 (mg) はどれか。1つ選べ。ただし、洗口後の溶液の口腔内残留率は20%とする。

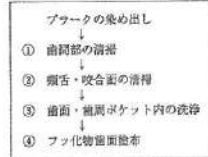
a 0.5
b 0.9
c 1.8
d 2.9

答え c

× a、× b、○ c、× d 毎週木曜日にフッ化物洗口を実施しており、週1回法のフッ化物洗口液を利用していると判断できる。週1回法ではフッ素濃度900ppmの0.2%フッ化ナトリウム溶液を用いるが、0.2%フッ化ナトリウム溶液1mL中に含まれるフッ素量は0.9mgであるため、溶液10mLのフッ素量は0.9mg × 10 = 9mgである。口腔内残留率を20%とした場合のフッ素の口腔内残留量は、9mg × 20% = 1.8mgである。

【問題 75】 Axelsson の PMTC で使用する器材・器具の写真 (別冊午前 No. 27) を別に示す。実施の流れを図に示す。この器材・器具を使用するのはどれか。1つ選べ。

a ①
b ②
c ③
d ④



答え b

× a、○ b、× c、× d 写真の器材・器具は、コントラアングルハンドピースに装着された研磨用カップと歯面研磨材 (ペースト) であり、Axelsson の PMTC において、頬舌側面・咬合面の清掃に用いる。したがって、②が正しい。

【問題 76】 グレーシータイプキュレットを操作している写真 (別冊午前 No. 28) を別に示す。正しいのはどれか。2つ選べ。

a ①
b ②
c ③
d ④



答え a d

○ a、× b、× c、○ d グレーシータイプキュレットのシャンクの屈曲方向をみると、①と④が正しい。

【問題 77】 う蝕リスク検査の結果の写真 (別冊午前 No. 29) を別に示す。評価しているのはどれか。1つ選べ。

a *Candida albicans*
b *Lactobacillus casei*
c *Streptococcus mutans*
d *Porphyromonas gingivalis*



答え c

× a カンジダ症に關与する *Candida albicans* をう蝕リスク検査で評価するとは考えにくい。
× b *Lactobacillus casei* は乳酸菌である。乳酸菌数を評価するのは Dentocult[®]-LB である。
○ c 写真のう蝕リスク検査はストリップを用いた Dentocult[®]-SM であり、*Streptococcus mutans* を評価している。
× d 歯周炎に關与する *Porphyromonas gingivalis* をう蝕リスク検査で評価するとは考えにくい。

【問題 78】 38歳の女性。半月前に家族から口臭を指摘され、気になったため来院した。歯科医師からデンタルフロス使用方法の指導について指示された。初診時の情報を表に示す。

歯磨き回数	1回/日
使用清掃用具	手用歯ブラシ
口腔内状態	O'LearyのPCR 50%、PPD 3mm以下、BOP 率5%、官能試験スコア2
既往歴	なし

SOAP で記録する際の項目と内容の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

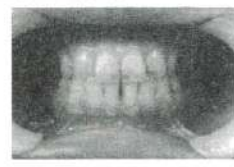
a S —— 1日1回の歯磨き
b O —— 口の臭いが気になる
c A —— 官能試験スコア
d P —— デンタルフロス使用方法の指導

答え — (厚労省発表: 採点対象から除外する。) 理由: 選択肢が不明確で正解が得られないため。

○ a 1日1回の歯磨きは「S」である。
△ b 家族から口臭を指摘されているため、口の臭いが気になるは「S」または「O」である。
× c 官能試験スコアは「O」である。
○ d デンタルフロス使用方法の指導は「P」である。

【問題 79】 50歳の女性。着色除去を希望して来院した。数か月前から気付き、次第に範囲が広がっているという。初診時の口腔内写真 (別冊午前 No. 30) を別に示す。着色の原因と考えられるのはどれか。1つ選べ。

a 外傷
b 飲食物
c テトラサイクリン
d フッ化ナトリウム



答え b

× a 口腔内写真から1~2歯限局的着色はみられないため、外傷が原因とは考えにくい。
○ b 口腔内写真から上顎前歯部切縁部に着色がみられるため、飲食物が原因と考えられる。
× c 口腔内写真から全顎的に帯状の着色はみられないため、テトラサイクリンが原因とは考えにくい。
× d 口腔内写真から上顎前歯部以外に着色はみられないため、フッ化ナトリウムが原因とは考えにくい。

【問題 80】 歯磨剤の成分と配合成分の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

a 研磨剤 —— リン酸水素カルシウム
b 湿潤剤 —— パラオキシ安息香酸メチル
c 粘結剤 —— アルギン酸ナトリウム
d 発泡剤 —— ソルビトール

答え a c

○ a リン酸水素カルシウムは研磨剤である。
× b パラオキシ安息香酸メチルは保存剤である。
○ c アルギン酸ナトリウムは粘結剤である。
× d ソルビトールは湿潤剤である。

【問題 81】 Down 症候群の患者の口腔衛生管理を行う際に配慮すべき点はどれか。2つ選べ。

a 小顎症
b 歯列不正
c 顎関節脱臼
d 歯の形態異常

答え b d

× a 小顎症は Robin シークエンスなどでみられる。
○ b、○ d Down 症候群の患者では先天性欠如歯や矮小歯、円錐歯、歯の萌出遅延などの歯の形態異常がみられ、歯列不正となりやすいため、口腔衛生管理を行う際に配慮すべきである。
× c Down 症候群では顎関節脱臼はみられない。

【問題 82】 小学校低学年を対象とした集団歯科保健指導を行うことになった。留意すべきなのはどれか。2つ選べ。

a 歯周炎
b 歯の交換
c 口腔の外傷
d 第一小臼歯のう蝕

答え b c

× a 「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり (平成23年)』の小学校高学年の課題は、歯周病の原因とその予防方法の理解と実践のため、歯周炎は小学校低学年を対象とした集団歯科保健指導で留意する必要はない。
○ b 「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり (平成23年)』の小学校低学年の課題は、歯の萌出と身体の発育への気付きのため、歯の交換は小学校低学年を対象とした集団歯科保健指導で留意すべきである。
○ c 「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり (平成23年)』の小学校低学年の課題は、休憩時間などでの衝突・転倒などによる歯・口の外傷の予防のため、口腔の外傷は小学校低学年を対象とした集団歯科保健指導で留意すべきである。
× d 「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり (平成23年)』の小学校中学年の課題が上顎前歯や第一大臼歯のむし歯予防と管理のため、第一小臼歯の齲蝕は小学校低学年を対象とした集団歯科保健指導で留意する必要はない。

【問題 83】 85歳の女性。口臭を主訴として同居の家族に付き添われて来院した。2年前から認知症を発症しているという。来院時の家族との医療面接の結果を表に示す。

口腔内状況	現在歯数26本、多量の歯垢付着、中等度の歯肉発赤
BDR 指標	B=a1, D=a, R=c
MWST	3点
よく飲むもの	お茶、水
間食習慣	1回/日、せんべい

答え c d

× a BDR 指標から R が c で「うがい」が全介助のため、洗口剤の使用は適切ではない。
× b MWST が3点だが、よく飲むものがお茶や水で誤嚥の記載がないため、軟食への変更は適切ではない。
○ c、○ d 主訴が口臭で、口腔内状況から多量の歯垢付着と中等度の歯肉発赤がみられるため、口腔内状況は悪いと考えられる。認知症を発症していることから、家族に対する指導内容として、仕上げ磨きの実施と歯間ブラシの使用が適切である。

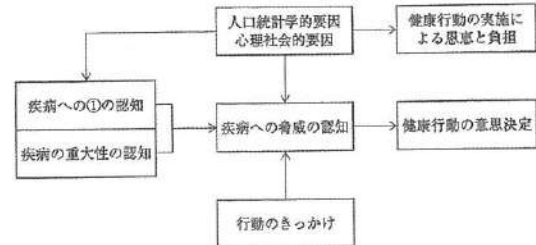
家族に対する指導内容で適切なのはどれか。2つ選べ。

a 洗口剤の使用 b 軟食への変更
c 仕上げ磨きの実施 d 歯間ブラシの使用

〔問題 84〕 工場でメッキ作業を行う職員を対象とした集団歯科保健指導で適切なものはどれか。2つ選べ。
 a 専用マスクの使用
 b 歯垢染め出しの実施
 c 小窩裂溝填塞の勧奨
 d フッ化物洗口の勧奨

答え a d
 ○a メッキ作業中の蒸気による酸蝕症を防止するため、専用マスクの使用が適切である。
 ×b、×c 歯垢染め出しの実施や小窩裂溝充填の勧奨は歯科保健指導としては必要であるが、工場でメッキ作業を行う職員を対象とした集団歯科保健指導としては適切ではない。
 ○d メッキ作業中の蒸気による酸蝕症を防止し、再石灰化を促進するため、フッ化物洗口の勧奨が適切である。

〔問題 85〕 健康信念モデル (Health Belief Model) の一部を図に示す。



①はどれか。1つ選べ。
 a 為害性 b 重篤性 c 難治性 d 易罹患性

答え d
 ×a、×b、×c、○d 健康信念モデル (Health Belief Model) で①は易罹患性である。

〔問題 86〕 「歯と口の健康週間」において、高校生を対象とした食生活に関する健康教育の依頼を受けた。指導目標として適切なものはどれか。2つ選べ。
 a 食べ方が心と体に影響を及ぼすことを理解する。
 b 初めての食材にも食べる意欲が持てるようにする。
 c 食べ物が生活習慣病に関係していることを理解する。
 d 前歯で噛み切り、奥歯でしっかり噛み砕くことができるようにする。

答え a c
 ○a、○c 高校生では食行動が好きなきに好きな物を食べる傾向が強くなり、栄養バランスの乱れがみられるようになるため、食べ方が心と体に影響を及ぼすことや食べ物が生活習慣病に関係していることを理解させることが重要である。
 ×b 幼児期前半では初めての食材にも食べる意欲が持てるようにする。
 ×d 幼児期後半では前歯と臼歯の役割分担が明確になるため、前歯で噛み切り、奥歯でしっかり噛み砕くことができるようにする。

〔問題 87〕 30歳の男性。矯正歯科治療のため来院した。歯科医師から口腔衛生管理を行うよう指示を受けた。う蝕リスクの評価結果を図に示す。
 推奨するのはどれか。2つ選べ。
 a 代用甘味料
 b 小窩裂溝填塞
 c 口腔保湿スプレー
 d 1,450ppmF 配合歯磨剤

刺激唾液分泌量: 1.0mL/分
 安静時唾液 pH: 6.5
 ミュータンス菌数: >10⁵CFU/mL

答え a d
 ○a、○d ミュータンス菌数: >10⁵CFU/mLでDentocult[®]-SMのclass 1のため、代用甘味料や1,450ppmF 配合歯磨剤の使用を推奨する必要がある。
 ×b 患者は30歳の男性で、う蝕リスクも高くはないため、小窩裂溝填塞を推奨する必要はない。
 ×c 刺激唾液分泌量が1.0mL/分とnormal (1.0~3.0mL/分)のため、口腔保湿スプレーを推奨する必要はない。

〔問題 88〕 食品添加物に用いられるのはどれか。2つ選べ。
 a 砂糖
 b オリーブ油
 c アスパルテーム
 d L-アスコルビン酸

答え c d
 ×a、×b 砂糖やオリーブ油は食品添加物ではない。
 ○c、○d 食品添加物は保存料や甘味料、着色料、香料など食品の製造過程または食品の加工・保存の目的で使用されるもので、アスパルテームやL-アスコルビン酸 (ビタミンC) は食品添加物である。

〔問題 89〕 85歳の女性。骨折で要介護状態となり介護施設に入所している。普通食を摂取していたが、臼歯部両側遊離端義歯を紛失して歯科訪問診療を受診した。義歯製作までに食事形態の変更が必要となった。むせはないという。野菜の炒め煮の食事形態の写真 (別冊午前 No. 31) を別に示す。
 適切なものはどれか。1つ選べ。



答え c
 ×a、×b、○c 患者は臼歯部両側遊離端義歯を紛失しており、義歯製作まで咀嚼が困難と考えられるため、きざみ食 (①・②) よりも食塊形成しやすい食事形態 (③) が適切と考えられる。
 ×d 患者にむせはみられないためペースト食 (④) にする必要はない。

〔問題 90〕 スクリーニング項目の一部を図に示す。

- ・過去3か月間の食量減少
- ・過去3か月間の体重減少
- ・自力歩行
- ・過去3か月間の精神的ストレスと急性疾患
- ・神経・精神的問題の有無

この項目で評価するのはどれか。1つ選べ。
 a BMI (Body mass index)
 b SGA (Subjective global assessment)
 c EAT-10 (Eating assessment tool)
 d MNA-SF[®] (Mini nutritional assessment-short form)

答え d
 ×a BMI (Body mass index) は栄養アセスメントの1つであり、体重 (kg) / 身長 (m)² で算出する。
 ×b SGA (Subjective global assessment) は栄養スクリーニング検査の1つであり、身長や体重、体重変化 (過去6か月と過去2週間) などを評価する。
 ×c EAT-10 (Eating assessment tool) は摂食嚥下のスクリーニング検査の1つである。
 ○d MNA-SF[®] (Mini nutritional assessment-short form) は栄養スクリーニング検査の1つであり、過去3か月間の食量減少や過去3か月間の体重減少、自力歩行、過去3か月間の精神的ストレスと急性疾患、神経・精神的問題 (認知症、うつ状態) などを評価する。

〔問題 91〕 乳児型嚥下について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 3歳頃消失する。
- b 上下顎が接触する。
- c 舌は蠕動様運動する。
- d 舌尖は口蓋に固定する。

答え c
 ×a 乳児型嚥下は1歳頃から消失し、成熟型嚥下に移行する。
 ×b 乳児型嚥下では上下顎間に舌の先端が介在するため、上下顎は接触しない。
 ○c 乳児型嚥下では舌が蠕動様運動する。
 ×d 乳児型嚥下では舌尖が突出するため、口蓋には固定しない。

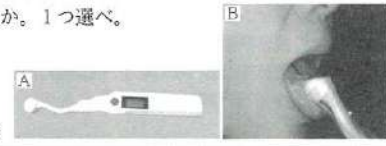
〔問題 92〕 摂食嚥下訓練中の写真 (別冊午前 No. 32) を別に示す。



この訓練で改善されるのはどれか。1つ選べ。
 a 嚥下圧
 b 口腔内圧
 c 喉頭挙上
 d 胸部可動域

答え d
 ×a、×b 嚥下圧や口腔内圧は筋刺激訓練法 (舌・口唇・頬) により改善される。
 ×c 喉頭挙上はメンデルソン手技により改善される。
 ○d 摂食嚥下訓練中の写真では胸部可動域訓練を行っている。胸部可動域訓練では体幹の屈曲、伸展、回旋、側屈などのストレッチを行うことで、胸部のコンプライアンス拡大 (胸部可動域の拡大) により咳嗽能力が改善される。

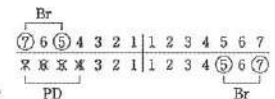
〔問題 93〕 66歳の女性。食事が飲み込みにくいことを主訴として来院した。口腔機能の低下が疑われたため、口腔機能精密検査を行った。検査に用いた器具の写真 (別冊午前 No. 33A) と検査実施時の写真 (別冊午前 No. 33B) を別に示す。
 検査内容はどれか。1つ選べ。



- a 舌圧
- b 舌運動
- c 口腔湿度
- d 口腔衛生状態

答え c
 ×a 舌圧の評価は舌圧測定器を用いて行う。
 ×b 舌運動の評価はオーラルディアドコキネシスで行う。
 ○c 写真は口腔水分計である。口腔水分計を用いて口腔湿度 (口腔乾燥の評価) を行う。
 ×d 口腔衛生状態不良の評価は舌苔付着度 (TCI) で行う。

〔問題 94〕 73歳の男性。脳血管疾患で入院していた急性期病棟から回復期病棟に移動することになり、利き手交換訓練を行うことになった。口腔機能管理を行うよう歯科医師から指示された。歯式を図に示す。



セルフケアで推奨するのはどれか。2つ選べ。
 a 電動歯ブラシ
 b デンタルフロス
 c 柄の細い歯ブラシ
 d 吸盤がついた義歯用ブラシ

答え a d
 ○a 脳血管疾患患者で利き手交換訓練を行うことになっており、細かい手指の動きは困難と考えられ、歯式から上下顎臼歯部にブリッジが装着されていることから、電動歯ブラシを推奨することが適切である。
 ×b、×c 脳血管疾患患者で利き手交換訓練を行うことになっており、細かい手指の動きは困難と考えられるため、デンタルフロスや柄の細い歯ブラシは推奨しない。
 ○d 歯式から下顎右側臼歯部に部分床義歯が装着されているため、義歯が清掃しやすいように吸盤がついた義歯用ブラシを推奨することが適切である。

〔問題 95〕 入院患者に対する多職種連携チームのうち、NSTの主目的はどれか。1つ選べ。

- a 栄養管理
- b 感染予防
- c 口腔健康管理
- d 廃用萎縮予防

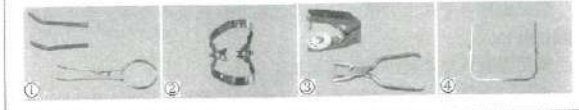
答え a
 ○a 栄養管理は入院患者に対する多職種連携チームのうち、NSTの主目的である。
 ×b 感染予防は院内感染対策委員会の主目的である。
 ×c、×d 口腔健康管理や廃用萎縮予防は入院患者に対する多職種連携チームの目的であるが、NSTの主目的ではない。

【問題 96】 5歳の女児。下顎左側第一乳臼歯のう蝕治療を希望して来院した。診断の結果、乳歯用既製金属冠を用いた歯冠修復を行うことになった。
マージン部の適合に用いるのはどれか。1つ選べ。

a 咬合面調整鉗子
b クラウンセッター
c コンタクトゲージ
d ゴードンのブライヤー

【問題 97】 ラバーダム防湿に使用する器具の写真(別冊午前 No. 34)を別に示す。
器具と使用目的の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

a ① —— ラバーダムシートに穿孔する。
b ② —— ラバーダムシートを歯に固定する。
c ③ —— ラバーダムシートを歯頸部に括約する。
d ④ —— ラバーダムシートを広げた状態で固定する。

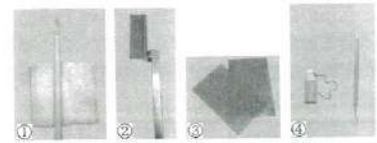


【問題 98】 うっ血性心疾患を有する患者の歯科診療時の体位で適切なものはどれか。2つ選べ。

a 座位
b 水平位
c 側臥位
d 半座位

【問題 99】 器材・器具の写真(別冊午前 No. 35)を別に示す。
口腔内でプロビジョナルレストレーションを製作する場合、使用するものはどれか。2つ選べ。

a ①
b ②
c ③
d ④

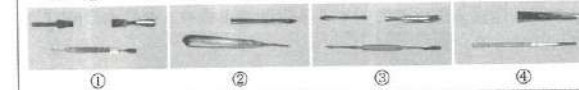


【問題 100】 歯科医師から上顎左側犬歯の二等分法エックス線撮影の準備を指示された。
正しいのはどれか。2つ選べ。

a 椅子に浅く座るよう指示をする。
b 正中矢状面を床に対して垂直にする。
c 画像検出器の位置づけは横置きにする。
d 指示用コーンの先端は皮膚面に接するよう固定する。

【問題 101】 24歳の女性。下顎左側埋伏智歯部の痛みと腫れを主訴として来院した。診察の結果、抜歯を行うことになった。器具とその先端の写真(別冊午前 No. 36)を別に示す。
粘膜骨膜弁の翻転に使用するものはどれか。2つ選べ。

a ① b ② c ③ d ④



【問題 96】 答え d
× a 咬合面調整鉗子は乳歯用既製金属冠の咬合面の適合改善に用いる。
× b クラウンセッターはクラウン合着時に用いる。セメントの硬化完了まで患者に噛んでもらうものである。
× c コンタクトゲージはクラウンやインレーの隣接面接触点の調整に用いる。
○ d ゴードンのブライヤーは乳歯用既製金属冠のマージン部の適合改善に用いる。

【問題 97】 答え b d
× a ①はクランプフォーセップスである。クランプの装着や脱離に用いる。
○ b ②は前歯用のクランプである。ラバーダムシートを歯に固定するために用いる。
× c ③はラバーダムパンチである。ラバーダムシートの穿孔に用いる。
○ d ④はラバーダムフレームである。ラバーダムシートを広げた状態で固定するために用いる。

【問題 98】 答え a d
○ a、× b、× c、○ d うっ血性心疾患を有する患者では、水平位にすると静脈血還流量が増大して、肺うっ血が増強し、呼吸困難が増悪するため、座位や半座位にする。

【問題 99】 答え a b
○ a ①は筆とガーゼである。プロビジョナルレストレーションは即時重合レジンを用いて製作する。筆はその即時重合レジンに筆積みする際に用いる。ガーゼは筆先のレジンを拭くのに用いる。
○ b ②は咬合紙ホルダーに装着された咬合紙である。プロビジョナルレストレーションの咬合調整に用いる。
× c ③はパラフィンワックスである。通法のプロビジョナルレストレーションの製作時には用いない。
× d ④は歯肉圧排糸とジンパッカーである。支台歯形成時や印象採得時の歯肉圧排を行う際に用いる。

【問題 100】 答え b d
× a 後頭結節の下部を撮影椅子のヘッドレストに位置づけるために、患者に深く座るよう指示をする。
○ b 頭部が傾かないように患者の顔の正中矢状面を床に対して垂直にする。
× c 上顎犬歯は歯の長さ(歯冠長+歯根長)が長いので、画像検出器(あるいはエックス線フィルム)の位置づけは縦置きにする。
○ d 指示用コーンの先端は皮膚面に接するよう固定する。

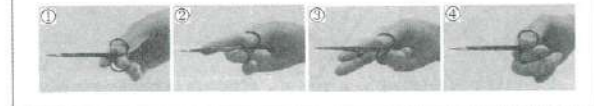
【問題 101】 答え a c
○ a ①は骨膜起子である。筋肉や靭帯、骨膜の強い付着部を骨から剥離する際に用いる。粘膜骨膜弁の翻転に使用する。
× b ②は直線状のルートチップピックである。先端部を抜歯窩と根尖部との間に挿入して、くさび作用を利用して根尖を脱臼させる。残根歯の抜去に用いる。
○ c ③は粘膜剥離子である。歯肉や歯槽粘膜を骨膜とともに剥離し粘膜骨膜弁を翻転する際に用いる。
× d ④は骨ノミである。骨表面の削除に用いる。埋伏歯の抜去や骨隆起の除去に用いる。

【問題 102】 口腔に関連したQOLの評価はどれか。1つ選べ。

a FIM
b SGA
c MMSE
d GOHAI

【問題 103】 剪刀を把持している写真(別冊午前 No. 37)を別に示す。
縫糸糸を切断する際の正しい持ち方はどれか。1つ選べ。

a ① b ② c ③ d ④

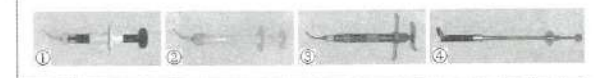


【問題 104】 外傷などで頸髄損傷の可能性がある場合の気道確保の方法はどれか。1つ選べ。

a 下顎挙上法
b 頭部後屈法
c 背部殴打法
d あご先挙上法

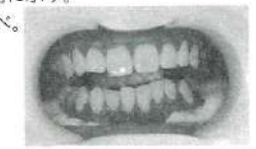
【問題 105】 器具の写真(別冊午前 No. 38)を別に示す。
グラスアイオノマーセメントの填塞に用いるのはどれか。1つ選べ。

a ① b ② c ③ d ④



【問題 106】 27歳の女性。歯を白くしたいとの希望で来院した。歯科医師の指示のもとで漂白処置を行うことになった。処置中の口腔内写真(別冊午前 No. 39)を別に示す。
続いて行うのはどれか。1つ選べ。

a 光照射
b 歯面清掃
c 漂白剤の塗布
d 知覚過敏の有無の確認



【問題 102】 答え d
× a FIM (Functional Independence Measure) は機能的自立度評価である。介助者の負担度の評価できる。
× b SGA (Subjective Global Assessment) は主観的包括的栄養評価で、特別な器具や装置を用いることなく、患者の病歴と身体所見のみから実施可能な栄養アセスメント法である。高齢者の栄養スクリーニングに用いられる。
× c MMSE (Mini Mental State Examination) は質問紙法認知機能の評価スケールである。
○ d GOHAI (General Oral Health Assessment Index) は口腔に関連したQOLの評価である。過去3か月間の口腔に起因する問題の発生頻度を調査する。12項目により評価し、合計点数が高いと口腔関連QOLが高いと評価する。

【問題 103】 答え b
× a、○ b、× c、× d 剪刀の正しい持ち方は、親指と薬指をリング部分に掛け、人差し指を柄の部分に添えるようにする。したがって、正解はbである。

【問題 104】 答え a
○ a 下顎挙上法は救命救急における気道確保の方法の1つである。外傷などで頸髄損傷の可能性がある場合にも行うことができる。両手の中指、薬指、小指を左右の下顎角におき、親指で開口させる。
× b 頭部後屈法は全部床義歯の咬合採得における水平的顎間関係の決定法の1つである。気道確保の方法には、頭部後屈あご先挙上法というのがある。
× c 背部殴打法は窒息が疑われるときに行う。後方から肩甲骨と肩甲骨の間を手掌基部で骨折するくらい強く叩く。
× d あご先挙上法ではなく、頭部後屈あご先挙上法は気道確保の方法の1つである。頸髄損傷の可能性がある場合には行わない。片手を顔に当て、もう片方の人差し指と中指の2本をあご先に当て、これを持ち上げて気道確保する方法である。

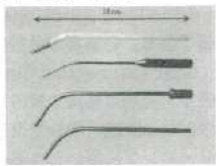
【問題 105】 答え a
○ a ①はCRシリンジである。コンポジットレジンやグラスアイオノマーセメントの填塞に用いる。
× b ②はシリコーン印象用シリンジである。シリコーン印象材のペースタタイプ(レギュラータイプ、インジェクションタイプ)での印象採得時に用いる。
× c ③は寒天印象用シリンジである。寒天印象材のカートリッジタイプでの印象採得時に用いる。
× d ④はストップングキャリアである。ストップングで仮封する際に用いる。

【問題 106】 答え c
× a、× b、○ c、× d オフィスブリーチ法での手順は以下のとおりである。
①歯面清掃、②歯肉の保護(写真では歯肉保護材を塗布している) ③漂白剤の塗布、④光照射、⑤漂白剤の除去、⑥術後の歯面清掃したがって、続いて行うのは漂白剤の塗布なので、正解はcである。

【問題 107】 器具の写真(別冊午前 No. 40)を別に示す。

主な使用目的はどれか。2つ選べ。

- a 術野の確保
- b 根管内の乾燥
- c 出血部位の吸引
- d 空気中の浮遊物質の減少



答え a c

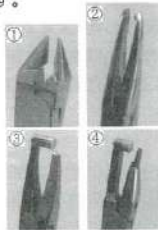
- a、○ c 写真の器具はいずれも外科用のバキュームチップである。使用目的は術野の確保や出血部位の吸引である。
- × b 根管内の乾燥は根管吸引装置の目的である。口腔内バキュームや排唾管に接続して使用する。
- × d 空気中の浮遊物質の減少を目的にしているのは口腔外バキュームである。

【問題 108】 アーチワイヤー・マルチブラケット装置の撤去に使用する器具の写真(別冊午前 No. 41)を別に示す。

使用目的との組合せで正しいのはどれか。

2つ選べ。

- a ①—— 結紮線の切断
- b ②—— バンドの撤去
- c ③—— ブラケットの撤去
- d ④—— ボンディング材の除去



答え a d

- a ①はピンアンドリガチャーカッターである。リガチャーワイヤー(結紮線)の切断に用いる。
- × b ②はハウプライヤーである。リガチャーワイヤーの結紮やアーチワイヤーの把持に用いる。
- × c ③はバンドリムービングプライヤーである。バンド(帯環)の除去に用いる。
- d ④はレジンリムーバー(ボンディング材撤去プライヤー)である。ボンディング材の除去に用いる。

【問題 109】 器具とその先端の写真(別冊午前 No. 42)を別に示す。

歯肉切除術で使用する器具はどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④



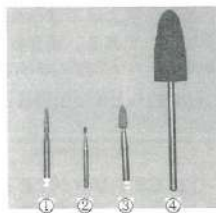
答え c d

- × a ①は根管充填用ピンセットである。根管充填材を把持するために用いる。
- × b ②はコーンプライヤーである。歯周組織再生誘導法(GTR法)において、遮断膜(GTR膜)を把持する際に用いる。
- c ③は有鉤ピンセットである。歯肉片と肉芽組織の除去に用いる。歯肉切除術で使用する。
- d ④はポケットマーカである。ポケット底の印記に用いる。歯肉切除術で使用する。

【問題 110】 バー・ポイントの写真(別冊午前 No. 43)を別に示す。

回転数 200,000rpm のマイクロモーターで使用できるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え b

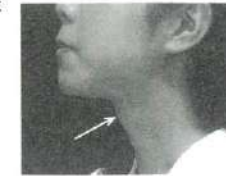
- × a ①は CA 用のダイヤモンドポイントである。マイクロモーターのコントラアングル型(CA)に装着して、低速回転 100~40,000rpm で使用する。
- b ②は FG 用のカーバイドバーである。エアターピンに装着して、高速回転 300,000~500,000rpm で使用する。また、増速回転型マイクロモーターに装着して、高速回転 100,000~200,000rpm で使用する。
- × c ③は CA 用のカーボランダムポイントである。マイクロモーターのコントラアングル型(CA)に装着して、低速回転 100~40,000rpm で使用する。
- × d ④は HP 用のビッグシリコンポイントである。マイクロモーターのストレート型(HP)に装着して、低速回転 100~40,000rpm で使用する。

31-B 午後問題解説

【問題 1】 下顔面・頸部の側面写真(別冊午後 No. 1)を別に示す。

矢印で示す高まりを形成するのはどれか。1つ選べ。

- a 軸 椎
- b 舌 骨
- c 甲状 軟骨
- d 輪状 軟骨



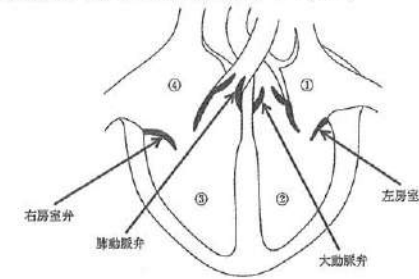
答え c

- × a 軸椎は第二頸椎のことである。
- × b 舌骨は甲状軟骨よりも上方に存在する。
- c 矢印で示す高まりは“のど仏”といわれる部位で、甲状軟骨の前方中央部に該当する。甲状軟骨は甲状舌骨靭帯と甲状舌骨筋で舌骨から吊り下げられている。
- × d 輪状軟骨は甲状軟骨の下方に存在し、気管へと続く。

【問題 2】 心臓を模式図に示す。

全身からの静脈血が流入するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え d

- × a ①は左心房である。肺からの動脈血が流入する。
- × b ②は左心室である。全身へ動脈血を排出する。
- × c ③は右心室である。肺へ静脈血を排出する。
- d ④は右心房である。全身からの静脈血が流入する。

【問題 3】 上顎第一大臼歯にみられることがあるのはどれか。

1つ選べ。

- a 盲 孔
- b 棘突起
- c 斜切痕
- d カラベリー結節

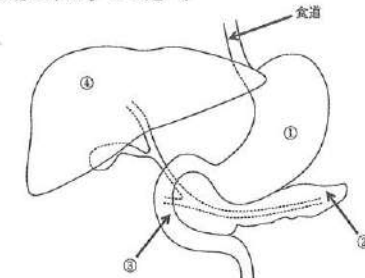
答え d

- × a 盲孔は上顎側切歯にみられることがある。
- × b 棘突起は上顎中切歯および犬歯にみられることがある。
- × c 斜切痕は上顎側切歯にみられることがある。
- d カラベリー結節は上顎第一大臼歯にみられることがある。

【問題 4】 消化器系を模式図に示す。

胆汁を生成するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え d

- × a ①は胃である。胃腺で胃液が生成・分泌される。
- × b ②は膵臓である。膵臓は膵液を分泌する外分泌腺であると同時に、ホルモン(グルカゴン、インスリン)を分泌する内分泌腺でもある。
- × c ③は十二指腸である。十二指腸には膵液と胆汁が流れ出る。
- d ④は肝臓である。胆汁を生成するのは肝臓である。

【問題 5】 咀嚼粘膜が覆うのはどれか。1つ選べ。

- a 口 唇
- b 歯 肉
- c 舌 背
- d 頬粘膜

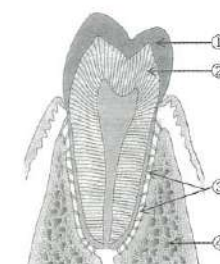
答え b

- × a 口唇は被覆粘膜で覆われている。
- b 歯肉は咀嚼粘膜で覆われている。
- × c 舌背は特殊粘膜で覆われている。
- × d 頬粘膜は被覆粘膜で覆われている。

【問題 6】 歯と歯周組織を模式図に示す。

歯の表面に圧刺激を与えたときに興奮するのはどれか。1つ選べ。

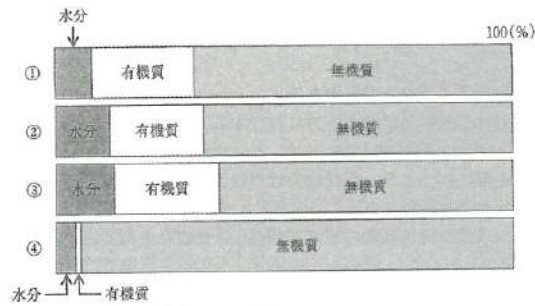
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え c

- × a ①はエナメル質である。感覚がない。
- × b ②は象牙質である。痛覚のみ存在する。
- c ③は歯根膜である。圧覚、触覚、痛覚、固有感覚が存在する。
- × d ④は歯槽骨である。骨には侵害受容器が分布していないので痛覚は存在しない。骨膜には痛覚が存在する。

【問題 7】 硬組織の成分含有量 (%) の比較を図に示す。



エナメル質はどれか。1つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

【問題 8】 出血傾向に対するスクリーニング検査結果の一部を表に示す。

検査項目	結果
血小板数	基準範囲内
出血時間	基準範囲内
プロトロンビン時間(PT)	基準範囲内
活性化部分トロンボプラスチン時間(ATTP)	延長
フィブリノゲン・フィブリン分解産物(FDP)	基準範囲内

出血傾向の原因と考えられる異常はどれか。1つ選べ。
a 血管 b 血小板 c 凝固因子 d 線維素溶解系

【問題 9】 口腔細菌の電子顕微鏡写真(別冊午後 No.2)を別に示す。

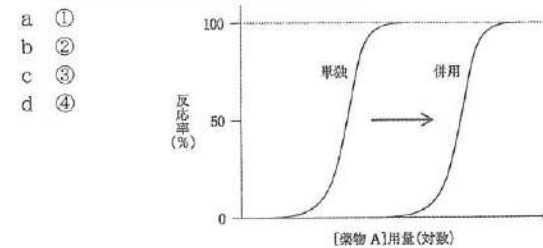
- 正しいのはどれか。1つ選べ。
a *Treponema denticola*
b *Streptococcus mutans*
c *Staphylococcus aureus*
d *Fusobacterium nucleatum*



【問題 10】 薬物A単独と、薬物Aと薬物Bの併用時の用量-反応曲線を模式図に示す。

模式図は、薬物Aに対して①作用薬である薬物Bが薬物Aの受容体に②競合的に結合すると、薬物Aの作用は低下し、さらに薬物Aの濃度を③下げると、薬物Bは受容体から追い出され薬物Aの最大反応率が④増強する現象を示している。

下線部で適切なのはどれか。1つ選べ。



【問題 11】 B型肝炎で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 経口感染で起こる。
b RNA ウィルスが病原体である。
c HBe 抗原陽性の血液は感染力が強い。
d 我が国のキャリアは約1万人と推定される。

答え d

- × a ①は無機質(約70%)が2番目に多いので骨組織と考えられる。
× b ②は無機質(約69%)が3番目に多いので象牙質と考えられる。
× c ③は無機質(約65%)が最も少ないのでセメント質と考えられる。
○ d ④は無機質(約95%)が最も多く、エナメル質である。

答え c

- × a 血管壁の異常があると、毛細血管抵抗試験は陽性を示し、出血時間はときに延長を示す。
× b 血小板数は基準範囲内なので、血小板の数に異常はない。血小板の機能異常があると、出血時間の延長がみられる。
○ c 部分トロンボプラスチン時間のみ延長がみられるので、内因系凝固因子の異常と考えられる。
× d 線維素溶解系の異常である播種性血管内凝固亢進症候群(DIC)の場合は、血小板数減少、全血凝固時間延長、部分トロンボプラスチン時間延長、出血時間延長、毛細血管抵抗試験陽性を示す。

答え d

- × a *Treponema denticola* はらせん状の菌である。
× b *Streptococcus mutans* は口腔レンサ球菌である。
× c *Staphylococcus aureus* は黄色ブドウ球菌である。
○ d *Fusobacterium nucleatum* は写真のような紡錘状のグラム陰性偏性嫌気性菌である。

答え b

- × a、○ b、× c、× d 模式図は競合的拮抗作用を示している。作用薬(アゴニスト)である薬物Aに対して①拮抗薬(アンタゴニスト)である薬物Bが薬物Aの受容体に②競合的に結合すると、薬物Aの作用は低下し、さらに薬物Aの濃度を③上げると、薬物Bは受容体から追い出され薬物Aの最大反応率が④回復する現象を示している。

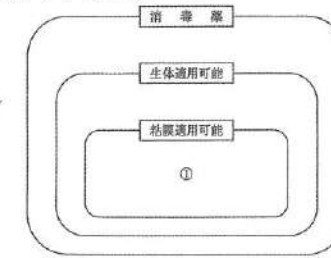
答え c

- × a B型肝炎は血液または体液を介して感染する。
× b B型肝炎ウィルスはDNAウィルスが病原体である。
○ c HBe 抗原陽性の血液は感染力が強い。
× d 我が国のキャリアは約110万~140万人と推定される。

【問題 12】 消毒薬をある条件で分類した図を示す。

①に含まれるのはどれか。1つ選べ。

- a フェノール
b グルタラル
c ポビドンヨード
d 消毒用エタノール



【問題 13】 Sjögren(シェーグレン)症候群の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 悪性唾液腺腫瘍である。
b 中高年の男性に好発する。
c 口腔や目の乾燥症状を呈する。
d 耳下腺や顎下腺に有痛性腫脹が生じる。

答え c

- × a 唾液腺腫瘍でなく、一般的には自己免疫疾患の1つと考えられている。
× b 中高年の女性に好発する。
○ c 唾液腺や涙腺などの外分泌腺に炎症が生じ、外分泌腺が破壊されるので、口腔や目の乾燥症状を呈する。
× d 耳下腺に無痛性腫脹が生じる。

【問題 14】 抜歯創の治癒過程を表に示す。

抜歯創が再生上皮で覆われ上皮化が完了するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④

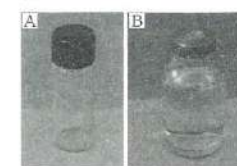
治癒過程	抜歯窩を満たすもの
① 凝血期	凝血塊(血餅)
② 肉芽組織期	肉芽組織
③ 仮骨期	新生骨梁(仮骨)
④ 治癒期	成熟骨

答え b

- × a 凝血期は抜歯後~1週頃である。抜歯窩に出血が生じ、やがて凝血塊(血餅)で満たされる。凝血の表面は線維素(フィブリン)で被われる。
○ b 肉芽組織期は抜歯後1~2週頃である。凝血塊は肉芽組織に置換される。これを器質化という。抜歯窩は肉芽組織で満たされ、新生骨の形成が始まる。その後、抜歯創の上皮化が完了する。
× c 仮骨期は抜歯後1~2か月頃である。肉芽組織中に誘導された骨芽細胞が幼若な骨梁を形成し、抜歯窩は新生骨(仮骨)で満たされる。
× d 成熟期は抜歯後2~3か月頃である。骨梁はリモデリング(改造現象)によって成熟骨となり、周囲の既存の骨と同じ構造になる。

【問題 15】 薬物の保存容器の写真(別冊午後 No.3A,B)を別に示す。薬物保存の際、Aと比較してBが防止できるのはどれか。1つ選べ。

- a 光の透過
b 気体の混入
c 液状異物の混入
d 固形異物の混入



答え b

- × a 光の透過を防止するのは遮光容器である。
○ b 写真Aは気密容器で、固形や液状の異物の混入を防止する。写真Bは密封容器で気体や微生物の侵入を防止することができる最も厳重な容器である。Aと比較してBが防止できるのは、気体の混入である。
× c 液状異物の混入は気密容器で防止できるので、密封容器でも防止できる。
× d 固形異物の混入は密封容器でも防止できる。

【問題 16】 Leavell & Clark の疾病の自然史に応じた5つの予防手段と3つの予防段階の概念図を示す。

自然史	前病因期	早期病因期	見つけうる早期障害	進展または顕著化	回復
予防手段	①	②	③	④	⑤
予防段階	第一次予防		第二次予防		第三次予防

③で実施するのはどれか。1つ選べ。

- a 歯周外科処置 b 歯周病の検診
c 小窩裂溝填塞 d 代用甘味料の使用

答え b

- × a 歯周外科処置は④(機能喪失阻止)で実施する。
○ b 歯周病の検診は③(早期発見・即時処置)で実施する。
× c、× d 小窩裂溝填塞や代用甘味料の使用は②(特異的防御)で実施する。

【問題 17】 歯磨剤に配合される薬用成分で化学的清掃の効果を目的とするのはどれか。1つ選べ。

- a 塩化ナトリウム
b 乳酸アルミニウム
c 酢酸トコフェロール
d 塩化セチルピリジニウム

答え d

- × a、× c 塩化ナトリウムや酢酸トコフェロールは血行促進剤として用いられる。
× b 乳酸アルミニウムは象牙質知覚過敏対策として用いられる。
○ d 塩化セチルピリジニウムは殺菌剤として用いられ、化学的清掃の効果を目的とする。

【問題 18】口臭を主訴とする患者に複数日にわたって口臭検査を実施したが、他覚口臭は認められなかった。考えられるのはどれか。2つ選べ。

a 仮性口臭
b 病的口臭
c 口臭恐怖症
d 生理的口臭

答え a c

- a、○ c 口臭を主訴としているが他覚症状が認められないため、仮性口臭または口臭恐怖症と考えられる。
- × b 病的口臭には口腔由来の病的口臭と全身由来の病的口臭があるが、どちらも他覚症状が認められる。
- × d 生理的口臭は他覚症状が認められる。

【問題 19】ある高等学校の学校歯科健康診断で、被診者、未処置歯、喪失歯、処置歯のそれぞれの総数の記録が存在する。算出できるのはどれか。1つ選べ。

a DF 者率
b DMF 者率
c DMF 歯率
d DMFT 指数

答え d

- × a DF 者率 = (未処置歯 (D)、処置歯 (F) のいずれか 1 歯以上有する被診者の数) / 被診者 × 100 で、未処置歯 (D)、処置歯 (F) のいずれか 1 歯以上有する被診者の数がわからないため算出できない。
- × b DMF 者率 = (未処置歯 (D)、喪失歯 (M)、処置歯 (F) のいずれか 1 歯以上有する被診者の数) / 被診者 × 100 で、未処置歯 (D)、喪失歯 (M)、処置歯 (F) のいずれか 1 歯以上有する被診者の数がわからないため算出できない。
- × c DMF 歯率 = 被診者における DMF 歯の合計 / 被検歯数 × 100 で、現在歯数がわからないことから被検歯数がわからないため算出できない。
- d DMFT 指数 = 被診者全員における DMF 歯の合計 / 被診者で、すべて記録が存在するため算出できる。

【問題 20】1歳6か月児歯科健康診査におけるう蝕の罹患型の分類に影響する所見はどれか。2つ選べ。

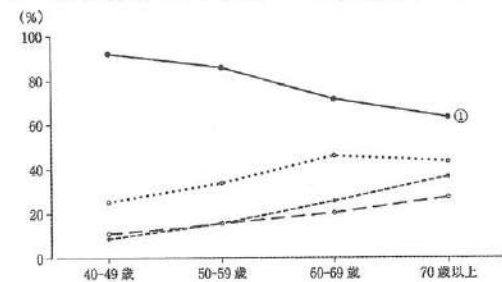
a 歯の清掃状態
b 癒合歯の有無
c 左右同歯種のう蝕の有無
d 上下顎前歯部のう蝕の有無

答え a d

- a う蝕はないが歯の清掃状態や口腔環境が悪いときは、う蝕罹患型は O₂ 型に分類される。
- × b、× c 癒合歯の有無や左右同歯種のう蝕の有無はう蝕の罹患型の分類には影響しない。
- d 上下顎前歯部のう蝕の有無は、う蝕罹患型 A・B・C のいずれかに分類される。

【問題 21】令和元年国民健康・栄養調査における生活習慣調査票「歯・口腔の健康に関する状況」の年齢階級別結果を図に示す。

答え a



- ①はどれか。1つ選べ。
- a 何でもかんで食べることができる。
b お茶や汁物などでむせることがある。
c 左右両方の奥歯でしっかりかみしめられない。
d 半年前に比べて固いものが食べにくくなった。

【問題 22】災害発生後に実施する歯科保健活動の目的はどれか。2つ選べ。

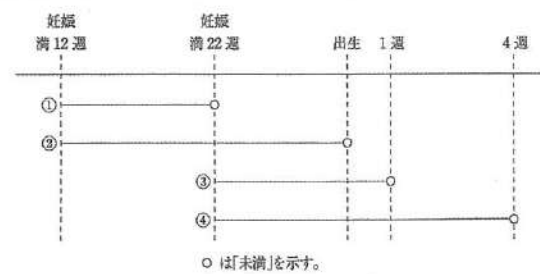
a 災害関連死の抑制
b 被災者の QOL 向上
c DMAT の活動の開始
d トリアージタッグの判定

答え a b

- a 誤嚥性肺炎などを予防することで災害関連死を抑制することが、災害発生後に実施する歯科保健活動の目的である。
- b 口腔清掃などを行うことで被災者の QOL を向上させることが、災害発生後に実施する歯科保健活動の目的である。
- × c、× d DMAT の活動の開始やトリアージタッグの判定は、災害発生後に実施する歯科保健活動の目的ではない。

【問題 23】妊娠期から生後 4 週までの期間を図に示す。

答え c



○は未満を示す。
周産期死亡に該当する期間はどれか。1つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

- × a、× b 妊娠満 12 週以降の死産の出産を死産率という。
- c 妊娠満 22 週以後の死産と生後 1 週未満の早期新生児死亡を合わせたものを周産期死亡 (③) という。
- × d 生後 4 週未満の死亡を新生児死亡という。

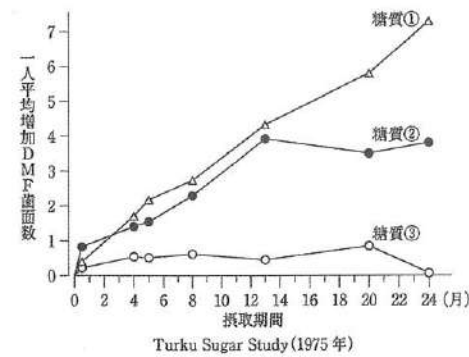
【問題 24】有機水銀が原因物質であったのはどれか。1つ選べ。

答え b

- a 中皮腫
b 水俣病
c 四日市喘息
d イタイイタイ病

- × a 中皮腫の原因物質はアスベストである。
- b 水俣病の原因物質は有機水銀である。
- × c 四日市喘息の原因物質は硫酸化物である。
- × d イタイイタイ病の原因物質はカドミウムである。

次の文を読み、【問題 25】、【問題 26】に答えよ。
「糖質①」を含む食品および「糖質②」をすべて「糖質③」あるいは「糖質③」に置換した食品を 24 か月間摂取させた各群の一人平均増加 DMF 歯面数の結果を図に示す。



【問題 25】この研究方法はどれか。1つ選べ。

答え b

- a 横断研究
b 介入研究
c 症例対照研究
d 生態学的研究

- × a グラフから時間経過を伴っているため縦断研究である。
- b 「糖質①」と「糖質②」と「糖質③」をそれぞれ摂取させ各群の一人平均増加 DMF 歯面数を評価しているため、介入研究と考えられる。
- × c 症例対照研究は結果で 2 群にわけ後ろ向きに調査する研究である。
- × d 生態学的研究は結果と関連要因を地域または集団単位で検討する方法である。

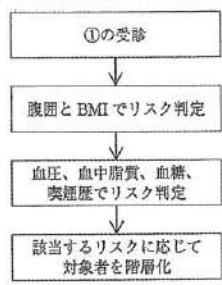
【問題 26】糖質①と比較して糖質③で低いのはどれか。2つ選べ。

答え b d

- a 緩衝能
b 酸産生能
c 再石灰化能
d ブラーク形成能

- × a、× c 糖質①と比較して糖質③は一人平均増加 DMF 歯面数が低いため、緩衝能や再石灰化能は高いと考えられる。
- b、○ d 糖質①と比較して糖質③は一人平均増加 DMF 歯面数が低いため、酸産生能やブラーク形成能は低いと考えられる。

【問題 27】 ある保健活動の流れを図に示す。

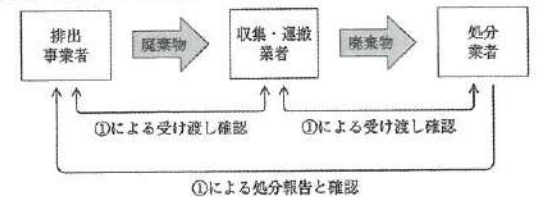


- ①はどれか。1つ選べ。
- a がん検診
 - b 骨粗鬆症検診
 - c 特殊健康診断
 - d 特定健康診査

【問題 28】 母子保健法に基づいて実施するのはどれか。2つ選べ。

- a 養育医療の給付
- b 児童虐待への対策
- c 自立支援医療の給付
- d 母子健康手帳の交付

【問題 29】 産業廃棄物の処理の流れを図に示す。



- ①を作成し交付するのはどれか。1つ選べ。
- a 市町村
 - b 都道府県
 - c 処分業者
 - d 排出事業者

【問題 30】 介護保険法に基づき高齢者の権利擁護業務を行うのはどれか。1つ選べ。

- a 保健所
- b 介護老人保健施設
- c 市町村保健センター
- d 地域包括支援センター

【問題 31】 安全管理におけるヒューマンエラー対策で、システムの構築に重要なものはどれか。2つ選べ。

- a 情報の共有
- b 問題解決力
- c メタ認知能力
- d マニュアルの作成

答え d

- × a、× b がん検診や骨粗鬆症健診は「健康増進法」に基づいて市町村が行う。
- × c 特殊健康診断は「労働安全衛生法」に基づいて行う。
- d 特定健康診査は「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、医療保険者(国民健康保険・被用者保険)が、40～74歳の加入者(被保険者・被扶養者)を対象として、毎年度、計画的に(特定健康診査等実施計画に定めた内容に基づき)実施する、内臓脂肪型肥満に着目した検査項目(腹囲、BMI、血圧、血中脂質、血糖など)での健康診査である。特定保健指導は特定健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に対し、毎年度、計画的に(特定健康診査等実施計画に定めた内容に基づき)実施する、動機付け支援・積極的支援である。

答え a d

- a、○ d 養育医療の給付や母子健康手帳の交付は「母子保健法」に基づいて実施する。
- × b 児童虐待への対策は「児童福祉法」や「児童虐待の防止等に関する法律」に基づいて実施する。
- × c 自立支援医療の給付は「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」に基づいて実施する。

答え d

- × a、× b 一般廃棄物の処理責務は市町村である。
- × c、○ d 産業廃棄物の処理責務は排出事業者であり、管理票(①)を作成し交付することで、マニフェストシステムで処理する必要がある。

答え d

- × a、× c 保健所や市町村保健センターは「地域保健法」に基づいて設置される。
- × b 介護老人保健施設は「介護保険法」に基づいて設置されるが、病状が安定期にあり入院治療の必要はないが、看護、介護、リハビリテーションを必要とする要介護状態の高齢者を対象に、慢性期医療と機能訓練によって在宅への復帰を目指す施設である。
- d 地域包括支援センターは「介護保険法」に基づいて設置され、総合相談支援業務や高齢者の権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務を行う施設である。

答え a d

- a 安全管理システムを構築するためには、情報の共有は必要である。
- × b 問題解決力は必要であるが、安全管理システムの構築において重要ではない。
- × c メタ認知能力とは自分自身の認知行動を把握することができる能力のことである。インシデント報告書はメタ認知能力の育成が目的であるが、安全管理システムの構築においてメタ認知能力は重要ではない。
- d 安全管理に関わらず、システムの構築にはマニュアルの作成は重要である。

【問題 32】 歯科衛生士が地域保健活動の場を通して、保健福祉職の一員として求められるのはどれか。2つ選べ。

- a 診療報酬の請求業務
- b 職域を超えた業務の遂行
- c 多職種と協働できる協調性
- d ヘルスプロモーターとしての役割

答え c d

- × a 診療報酬の請求業務は歯科医院の開設者や管理者、あるいは医療事務経験者や資格取得者などが行う。
- × b 職域を超えた業務の遂行する必要はない。
- c チーム医療は重要であり、他職種と協働できる協調性が求められる。
- d ヘルスプロモーターとは、自分自身の健康づくりと共に他者の健康づくりも推進していくことができる者のことで、保健福祉職の一員として歯科衛生士に求められる。

【問題 33】 患者の権利を十分に擁護するためには、患者が①受ける医療行為について説明を受けたうえで同意するだけでなく、②提示された治療の選択肢に対して自ら自己決定する。患者が③病態や治療内容などに関して他の医療情報源から得た見解も参考にし、④自分の価値観に基づき最終的な意思決定をする。下線部分でセカンドオピニオンはどれか。1つ選べ。

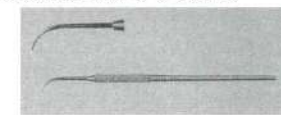
- a ① b ② c ③ d ④

答え c

- × a ①は「説明と同意」が記載されているので、インフォームドコンセントである。
- × b ②は「自ら自己決定」と記載されているので、自己決定権である。
- c ③は「他の医療情報源から得た見解」と記載されているので、セカンドオピニオンである。
- × d ④は「自分の価値観に基づいた意思決定」と記載されているので、患者の意思決定である。

【問題 34】 器具とその先端の写真(別冊午後No.4)を別に示す。これを用いた検査で確認できるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯の動揺度
- b 擦過痛の有無
- c 根尖部歯肉の圧痛
- d 歯周ポケットの深さ

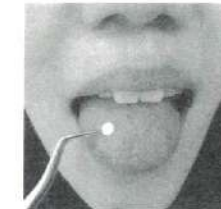


答え b

- × a 歯の動揺度はピンセットを用いて確認する。
- b 写真の器具はエキスポローラー(探針)である。象牙質知覚過敏症の検査に用いられ、擦過痛の有無が確認できる。
- × c 根尖部歯肉の圧痛は手指を用いて確認する。
- × d 歯周ポケットの深さは歯周プローブを用いて確認する。

【問題 35】 舌のある検査の写真(別冊午後No.5)を別に示す。この検査で評価するのはどれか。1つ選べ。

- a 触覚
- b 痛覚
- c 味覚
- d 冷覚



答え c

- × a、× b、○ c、× d 写真を見ると、濾紙ディスク法を行っているとわかる。したがって、この検査で評価するのは味覚である。

【問題 36】 PCR(Polymerase Chain Reaction)法を用いた微生物学的検査で、検出する成分はどれか。1つ選べ。

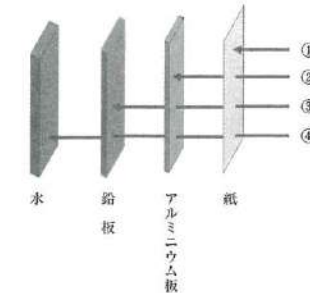
- a DNA
- b 脂質
- c 糖質
- d アミノ酸

答え a

- a、× b、× c、× d PCR(Polymerase Chain Reaction)法は、微生物などのDNAを増幅して検出するものである。

【問題 37】 放射線の物質透過性の図(別冊午後No.6)を別に示す。エックス線はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え c

- × a ①は紙を透過しないため、α線である。
- × b ②は紙を透過するが、アルミニウム板を透過しないため、β線である。
- c ③は紙やアルミニウム板を透過するが、鉛板を透過しないため、エックス線やガンマ線である。
- × d ④は紙やアルミニウム板、鉛板を透過するが、水を透過しないため、中性子線である。

【問題 38】 歯の硬組織疾患と原因の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 酸蝕症 ————— Streptococcus salivarius
 b くさび状欠損 ————— 機械的刺激
 c 歯のフッ素症 ————— 遺伝的要因
 d 象牙質知覚過敏症 ————— 根面露出

【問題 39】 口腔内写真(別冊午後 No. 7)を別に示す。

上顎左右中切歯の歯肉辺縁にみられるのはどれか。1つ選べ。

- a クレフト
- b 口呼吸線
- c 歯肉増殖
- d フェストウン



【問題 40】 根管治療に使用する次亜塩素酸ナトリウム溶液の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 根管壁を脱灰する。
- b 有機質を溶解する。
- c 強アルカリ性である。
- d 化学的に安定している。

【問題 41】 上顎右側中切歯唇側に5級窩洞を形成し、コンポジットレジン修復を行うことになった。

窩洞形成前に行うのはどれか。2つ選べ。

- a 色合わせ
- b 歯間分離
- c 歯髄保護
- d 歯肉排除

【問題 42】 上顎右側犬歯へ側方加圧充填法で根管充填処置を行った。術中の口腔内写真(別冊午後 No. 8)を別に示す。

次に使用するのはどれか。

- 1つ選べ。
- a プラガー
- b レンツロ
- c スプレッター
- d 根管充填用ピンセット



【問題 43】 65歳の女性。温かいお茶を飲む時に上顎左側臼歯部に鋭い疼痛を感じるようになったことを主訴として来院した。数年前から口蓋側歯肉の腫脹と排膿を繰り返していたが、放置していたという。診査の結果、急性歯髄炎と診断された。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 9A)、エックス線画像(別冊午後 No. 9B)および歯周組織検査結果の一部(別冊午後 No. 10)を別に示す。

歯髄炎の原因で考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a う蝕
- b 歯根破折
- c 隣在歯からの感染
- d 深い歯周ポケットからの感染

A	頰側	PPD(mm)	⑤	3	3
	歯種			26	
B	口蓋側	PPD(mm)	⑩	⑧	4
	動揺度 (Millerの分類)			2	
	根分岐部 (Lindhe & Nymanの分類)			1	

○印：プロービング時の出血

答え b d
 × a 酸蝕症は飲食物中の酸や胃酸などが原因となる。Streptococcus salivariusなどの細菌は関与しない。
 ○ b くさび状欠損はブラッシング圧などの機械的刺激が原因となる。
 × c 歯のフッ素症は歯の形成中のフッ化物の過剰摂取が原因となる。遺伝的要因は関係ない。
 ○ d 象牙質知覚過敏症は根面露出などが原因となる。

答え d
 × a、× b、× c ○ d 写真をみると、上顎左右中切歯の歯肉辺縁がロール状に隆起、肥厚していることがわかる。したがって、上顎左右中切歯の歯肉辺縁にみられるのはフェストウンである。クレフトや口呼吸線、歯肉増殖はみられない。

答え b c
 × a 次亜塩素酸ナトリウム溶液に根管壁の脱灰作用はない。脱灰作用があるのはEDTA溶液である。
 ○ b 次亜塩素酸ナトリウム溶液は有機質溶解作用がある。
 ○ c 次亜塩素酸ナトリウム溶液は強アルカリ性である。
 × d 次亜塩素酸ナトリウム溶液は光や熱などに弱く、化学的に不安定で分解しやすい。

答え a d
 ○ a コンポジットレジン修復を行うにあたり、色合わせは窩洞形成前に行う。
 × b 歯間分離は隣接面のコンポジットレジン修復の際に関係する。5級窩洞には関係ない。
 × c 歯髄保護は窩洞形成後に必要に応じて行う。
 ○ d 5級窩洞は歯頸部の窩洞であり、窩洞形成前に歯肉排除を行っておく。

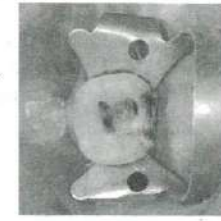
答え a
 ○ a 写真をみると、マスターポイントと4本のアクセサリポイントが確認でき、緊密に根管内にポイントを充填したと考えられる。したがって、次にプラガーを使用して余剰ポイントを焼き切り、断端を加圧する。
 × b レンツロはシーラーを根管内に填入するときに用いる。
 × c スプレッターはポイントを側方加圧するときに用いる。
 × d 根管充填用ピンセットはポイントを把持するときに用いる。

答え d
 × a、× b 口腔内写真やエックス線画像で明らかなう蝕や歯根破折はみられない。
 × c エックス線画像で隣在歯の根尖部に病変はみられず、隣在歯からの感染は考えにくい。
 ○ d エックス線画像で高度な歯槽骨吸収がみられ、10mmの歯周ポケットが存在することより、深い歯周ポケットからの感染が原因で上行性歯髄炎を生じたと考えられる。

【問題 44】 50歳の男性。食事中に仮封材が脱離したことを主訴として来院した。下顎左側第一大臼歯の歯内治療を継続しており、直ちに根管治療を行うことになった。ラバーダムシート装着途中の口腔内写真(別冊午後 No. 11)を別に示す。

歯頸部の括約に用いるのはどれか。1つ選べ。

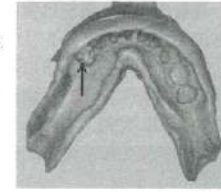
- a 探針
- b ピンセット
- c 練成充填器
- d エキスカバーター



【問題 45】 60歳の男性。下顎臼歯部の欠損による咀嚼障害を主訴として来院した。診察の結果、残存歯と顎堤には問題がないため、部分床義歯を製作することになった。治療過程の写真(別冊午後 No. 12)を別に示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

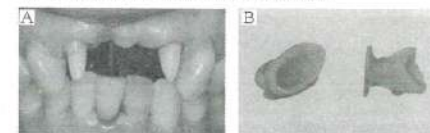
- a クラスプ
- b レストシート
- c ガイドプレーン
- d フレームワーク



【問題 46】 55歳の男性。上顎前歯部の欠損による審美障害を主訴として来院した。オールセラミックブリッジによる治療が開始された。支台歯形成後の口腔内写真(別冊午後 No. 13A)と調整中の器材の写真(別冊午後 No. 13B)を別に示す。この器材と個人トレーを用いた印象採得法の処置をa~dに示す。

3番目に行うのはどれか。1つ選べ。

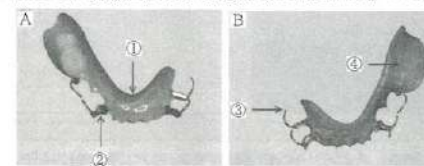
- a 器材への接着剤塗布
- b 器材辺縁部の適合調整
- c レギュラータイプの印象材練和
- d インジェクションタイプの印象材練和



【問題 47】 70歳の男性。下顎義歯紛失による咀嚼困難を主訴として来院した。部分床義歯による治療を行うことになった。完成した義歯の研磨面と粘膜面の写真(別冊午後 No. 14A、B)を別に示す。

義歯装着に際して、最初に適合を確認するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え c
 × a、× b、○ c、× d 歯頸部の括約には練成充填器を用いる。探針やピンセット、エキスカバーターは使用しない。

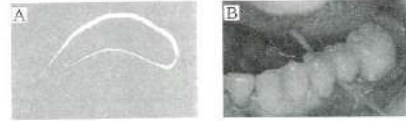
答え b
 × a クラスプは部分床義歯の支台装置なので、義歯製作時の印象採得時には存在しない。
 ○ b 矢印は支台歯に付与するレストシートである。クラスプのレストとレストシートが適合することによって支持機能が発揮される。
 × c ガイドプレーンは支台歯に付与する誘導面である。義歯側の隣接面とガイドプレーンが適合することによって把持機能が発揮される。
 × d フレームワークとは部分床義歯の支台装置と連結装置を含めた金属部分のことである。

答え d
 × a、× b、× c、○ d 写真Bは個歯トレーである。個歯トレーを用いた印象採得法の手順は以下のとおりである。
 ①個歯トレー辺縁部の適合調整 (b)
 ②個歯トレーへの接着剤塗布 (a)
 ③個歯トレーへのインジェクションタイプの印象材練和・注入 (d)
 ④個人トレーへのレギュラータイプの印象材練和・注入 (c)
 3番目に行うのは、インジェクションタイプの印象材練和なので、正解はdである。

答え b
 × a ①は義歯床縁である。
 ○ b ②はレストである。義歯装着に際して、最初に確認するのはレストとレストシートの適合である。
 × c ③はクラスプの鉤尖である。
 × d ④は義歯床粘膜面である。

【問題 48】 55歳の女性。下顎左側第一大臼歯部の欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、固定性ブリッジによる治療が開始された。器材の写真(別冊午後No.15A)とこれを用いて患者へ説明している口腔内写真(別冊午後No.15B)を別に示す。

- 本器材により効果的に清掃できる部位はどれか。2つ選べ。
- a 連結部
 - b ポンティック基底面
 - c 隣接歯との接触点部
 - d 支台装置頰側中央歯頸部



【問題 49】 顎関節脱臼患者に徒手整復を行った後の写真(別冊午後No.16)を別に示す。

装着している器材の目的はどれか。

- 2つ選べ。
- a 嚥下訓練
 - b 開口制限
 - c 顎間固定
 - d 顎関節の安静



【問題 50】 41歳の男性。口蓋の異常を主訴として来院した。2年前から異常に気付いていたが、痛みがないため放置していたところ、少しずつ大きくなってきたという。触診による圧痛や硬結はみられなかった。診察の結果、乳頭腫と診断された。初診時の口腔内写真(別冊午後No.17)を別に示す。

この特徴はどれか。2つ選べ。

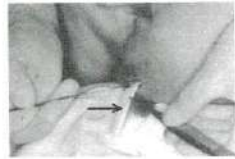
- a 悪性腫瘍である。
- b 上皮性腫瘍である。
- c 潰瘍を形成している。
- d ウイルスの関与もある。



【問題 51】 31歳の男性。下顎左側の疼痛と腫脹を主訴として来院した。1週間前から下顎左側小臼歯部の咬合痛、4日前から同部の自発痛を認め、昨日から疼痛の増悪と腫脹が生じたという。顎下部腫瘍と診断され、消炎処置を行った。処置中の写真(別冊午後No.18)を別に示す。

矢印で示す器材の目的はどれか。

- 1つ選べ。
- a 止血
 - b 鎮痛
 - c 細菌培養検査
 - d 排膿路の確保



【問題 52】 矯正装置製作の前処置の写真(別冊午後No.19)を別に示す。

目的はどれか。1つ選べ。

- a 空隙閉鎖
- b 歯間分離
- c 歯の圧下
- d 隣接面の研磨



答え a b

- a、○ b 写真Aはスーパーフロスである。スーパーフロスは写真Bに示すように、固定性ブリッジの連結部やポンティック基底面の清掃に効果的である。
- × c 隣接歯との接触点部の清掃には、通常のデンタルフロスや歯間ブラシの使用が効果的である。
- × d 支台装置の頰側中央歯頸部の清掃には、歯ブラシの使用が効果的である。

答え b d

- × a 装着している器材は弾性包帯である。嚥下訓練のために装着するものではない。
- b、○ d 再脱臼防止法には、弾性包帯による顎包帯法、オトガイ帽装置(チンキャップ)による方法などがある。使用目的は開口制限や顎関節の安静である。
- × c 顎間固定のためは、連続歯牙結紮法や線副子法などを行う。

答え b d

- × a、○ b 乳頭腫は良性上皮性腫瘍である。
- × c 乳頭腫は有茎状の腫瘍で、潰瘍は形成しない。
- d ヒトパピローマウイルス(HPV)の関与もある。

答え d

- × a 局所止血の目的には酸化セルロースなどの止血剤を用いる。
- × b 鎮痛の目的には消炎鎮痛薬を投与する。
- × c 細菌培養検査は歯内療法で行われる。根管内に挿入したペーパーポイントを検体として培養する。
- d 顎下部腫瘍に対して消炎処置を行っているため、写真の矢印はドレーンと考えられる。ドレーンを挿入することによって、排膿路を確保するという目的がある。

答え b

- × a、○ b、× c、× d 写真を見ると、セパレーティングフライヤーを用いてエラスティックセパレーターを装着しているとわかる。したがって、この処置の目的は歯間分離である。空隙閉鎖や歯の圧下、隣接面の研磨を目的としているわけではない。

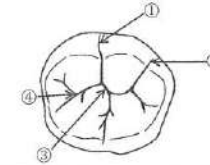
【問題 53】 20歳の女性。前歯で噛み切りにくいことを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後No.20)を別に示す。Angleの不正咬合の分類はどれか。1つ選べ。

- a I級
- b II級1類
- c II級2類
- d III級



【問題 54】 下顎右側第一大臼歯の咬合面観を模式図に示す。正常咬合で上顎右側第一大臼歯の近心頰側咬頭内斜面が接触するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



【問題 55】 ある矯正装置を装着した口腔内写真(別冊午後No.21)を別に示す。

期待できる治療効果はどれか。

- 1つ選べ。
- a 前歯部開咬の改善
 - b 上顎歯列の側方拡大
 - c 上顎切歯の唇側移動
 - d 上顎骨の前方成長促進



【問題 56】 9歳の男児。直前に転倒し上顎中切歯が脱落したと保護者から電話があった。すぐに脱落した歯を持って来院してもらうよう歯科医師から指示を受けた。

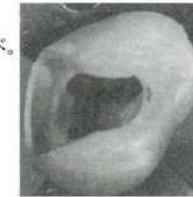
脱落した歯の取扱いについて、保護者への説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 水道水で洗ってください。
- b アルコールで消毒してください。
- c 冷たい牛乳に浸けて持参してください。
- d 歯の根の部分には触らないでください。

【問題 57】 5歳の男児。冷水痛を主訴として来院した。上顎右側第一乳臼歯にう蝕が認められたが、歯の動揺や打診痛はなかった。浸潤麻酔後ラバーダム防湿を行い、う蝕除去後露髄が認められたので、歯内療法を行うことになった。処置中の口腔内写真(別冊午後No.22)を別に示す。

次に貼薬されるのはどれか。1つ選べ。

- a 過酸化尿素
- b 硝酸カリウム
- c 水酸化カルシウム
- d フッ化ナトリウム



【問題 58】 右大脳の脳梗塞によって左片麻痺が出た場合、麻痺以外に生じやすい症状はどれか。1つ選べ。

- a 言葉を話せない。
- b 言葉を理解できない。
- c 空間の左側を認識できない。
- d 目的にあった行動ができない。

答え d

- × a、× b、× c、○ d 下顎の頰面溝が上顎第一大臼歯の近心頰側咬頭より近心に位置していることから、III級と判断される。

答え a

- a、× b、× c、× d 正常咬合で上顎右側第一大臼歯の近心頰側咬頭内斜面が接触するのは、下顎右側第一大臼歯の頰面溝である。したがって、図の①が正しい。

答え c

- × a リンガルアーチで前歯部開咬の改善を期待するとは考えにくい。
- × b 補助弾線の走行をみると、上顎歯列の側方拡大は期待できない。
- c 写真をみると、リンガルアーチが装着されており、上顎前歯部に補助弾線が装着されているのがわかる。したがって、期待できる治療効果は上顎切歯の唇側移動である。
- × d リンガルアーチで上顎骨の前方成長促進を期待するとは考えにくい。

答え c d

- × a、× b、○ c、○ d 外傷で上顎中切歯が脱落した場合は直ちに再植することを考えるが、再植の予後は歯根表面に残存している歯根膜細胞の損傷の程度などが影響する。したがって、脱落した歯の根の部分には触らないように保護者へ説明し、冷たい牛乳に浸けて持参するように伝えるのがよい。水道水で洗ったり、アルコールで消毒することは歯根膜細胞を障害するため避けるべきである。

答え c

- × a 過酸化尿素は歯の漂白に使用する。
- × b 硝酸カリウムは象牙質知覚過敏症に使用する。
- c う蝕除去後に露髄したため歯内療法を行った症例であるが、写真をみると髄室開拓がされている。写真の解像度が低く、行われた歯内療法が生活歯髄切断か抜髄かや判断に迷うが、いずれにしても水酸化カルシウムの貼薬を行う。
- × d フッ化ナトリウムはう蝕予防に使用する。

答え c

- × a、× b 左大脳の脳梗塞が生じると、失語などの言語障害がみられる。
- c 右大脳の脳梗塞が生じると、失認などの認識障害がみられる。
- × d 左大脳の脳梗塞によって右片麻痺が生じると、実行機能障害などがみられる。

【問題 59】 68歳の女性。意識障害で入院したが、覚醒してきた。観察したところ右側の表情筋に麻痺が認められ、飲み物が漏れるという。顔面の写真（別冊午後No.23）を別に示す。



麻痺の原因となるのはどれか。
1つ選べ。
a 顔面神経
b 三叉神経
c 舌咽神経
d 舌下神経

答え a

- a 顔面神経は表情筋の運動を司る神経である。顔面の写真から右側の表情筋の麻痺が認められるため、麻痺の原因は顔面神経と考えられる。
- × b 三叉神経は顔面の感覚を司る神経である。
- × c 舌咽神経は咽頭の運動や感覚を司る神経である。
- × d 舌下神経は舌の運動を司る神経である。

【問題 60】 67歳の男性。舌癌により舌根部を除く舌体を切除し、皮弁で再建している。傷が落ち着いてきたのでそろそろ食事を開始したいとのことである。口腔内写真（別冊午後No.24）を別に示す。



疑われるのはどれか。2つ選べ。
a 先行期障害
b 準備期障害
c 口腔期障害
d 咽頭期障害

答え bc

- × a 先行期は食物を視覚や嗅覚が特殊感覚として、触圧覚が物理的性質の情報として上位脳に送る時期である。
- b 準備期は食物を口腔に取り込み、咀嚼して食塊を形成する時期である。舌癌により舌根部を除く舌体を切除し、皮弁で再建していることから、舌の運動に障害があると考えられるため、準備期障害が疑われる。
- c 口腔期は咀嚼後の食塊を咽頭へ送り出す時期である。舌癌により舌根部を除く舌体を切除し、皮弁で再建していることから、舌の運動に障害があると考えられるため、口腔期障害が疑われる。
- × d 咽頭期は食塊が口峽を通過してから咽頭を経て後端が食道入口部を通過するまでの時期である。

【問題 61】 15歳の男子。上顎の歯肉が腫れていることを主訴として来院した。脳性麻痺とてんかんの既往があり、以前から気になっていたという。初診時の口腔内写真（別冊午後No.25）を別に示す。



歯肉腫脹の原因と考えられるのはどれか。2つ選べ。
a 流涎
b 口呼吸
c 常用薬
d ブラキシズム

答え bc

- × a 脳性麻痺の患者のため、流涎がみられることはあるが、歯肉腫脹の原因とはならない。
- b 脳性麻痺の患者のため、口呼吸がみられることがあり、口呼吸は歯肉腫脹の原因となる。
- c てんかんの既往があり、抗てんかん薬（フェニトイン）を服用していると考えられる。フェニトインは歯肉増殖の誘因となるため、常用薬は歯肉腫脹の原因となる。
- × d 脳性麻痺の患者のため、ブラキシズムがみられることはあるが、歯肉腫脹の原因とはならない。

【問題 62】 脳性麻痺患者の口腔所見で留意しなければならないのはどれか。2つ選べ。

- a 咬耗
- b 過剰歯
- c 狭窄歯列
- d 口唇口蓋裂

答え ac

- a 脳性麻痺患者ではブラキシズムによる著しい咬耗に留意すべきである。
- × b、× d 脳性麻痺患者では過剰歯や口唇口蓋裂に留意する必要はない。
- c 脳性麻痺患者では口腔周囲の筋緊張による狭窄歯列に留意すべきである。

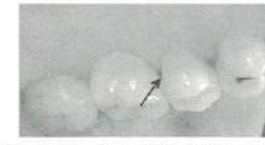
【問題 63】 50歳の男性。歯周疾患検診で歯科受診を勧められ、来院したところ慢性歯周炎と診断された。

初診時のアセスメントでの Subjective data はどれか。2つ選べ。
a 喫煙状況
b 歯の動揺度
c 口腔清掃方法
d 歯肉出血スコア

答え ac

- a、○ c Subjective data は対象者から聴取した情報である。喫煙状況や口腔清掃方法は Subjective data である。
- × b、× d 歯の動揺度や歯肉出血スコアは検査結果であるため、Objective data である。

【問題 64】 42歳の女性。上顎左側大白歯部からの出血を主訴として来院した。歯周組織検査の結果、慢性歯周炎と診断され、歯周基本治療を開始した。歯科医師から歯石除去を行うよう指示された。初診時の口腔内写真（別冊午後No.26）を別に示す。

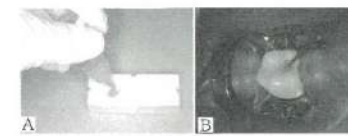


矢印で示す部位に使用するグレーシータイプキュレットはどれか。1つ選べ。
a #1
b #8
c #11
d #12

次の文を読み、【問題 65】、【問題 66】に答えよ。

小窩裂溝充填を実施する際に用いる材料の準備中の写真（別冊午後No.27A）、模型上で下顎右側第一大臼歯に使用している写真（別冊午後No.27B）および処置手順の写真（別冊午後No.27C）を別に示す。

【問題 65】 写真A、Bに示す材料を使用する目的はどれか。1つ選べ。



- a 審美性の改善
- b 接着力の強化
- c 耐酸性の向上
- d 表面劣化の防止

答え d

- × a #1は前歯部に用いる。
- × b #8は臼歯部の頬舌側面に用いる。
- × c、○ d #11と#12は臼歯部の近心面に用いる。上顎左側第一大臼歯のスケーリングでは、#11は頬側近心面、#12は口蓋側近心面に用いるが、矢印で示す部位は上顎左側第一大臼歯の口蓋側近心面であるため#12を使用する。

【問題 66】 写真Cのなかで、写真Bより前に行うのはどれか。

1つ選べ。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え b

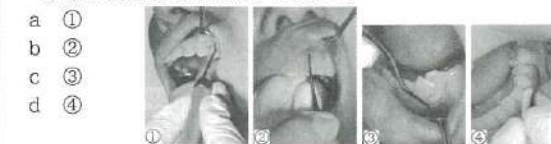
- × a、○ b、× c、× d 写真をみると、使用している材料は小窩裂溝充填を実施する際に用いる酸処理剤であることがわかる。したがって、その目的は充填材のエナメル質への接着力の強化である。審美性の改善や耐酸性の向上、表面劣化の防止は酸処理剤の使用目的ではない。

答え a

- a、× b、× c、× d 写真Bの処置は酸処理である。酸処理前に行う処置は歯面清掃であるため、①が正しい。酸処理後は水洗、乾燥を行い、レジンに適量流し込み（③）、気泡が入らないように探針で誘導（④）した後、光照射（②）を行う。

【問題 67】 グレーシータイプキュレット操作時の写真（別冊午後No.28）を別に示す。

適切な手指固定はどれか。2つ選べ。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え ab

- a ①は、グレーシータイプキュレット操作時の適切な手指固定の1つである口腔外固定である。
- b、× c、× d グレーシータイプキュレット操作時の適切な手指固定の1つである口腔内固定には、作業部付近の歯面に置く方法、対合歯に置く方法、反対側の左右対称の位置に置く方法、スケーラーを把持していない反対側の指の上に置く方法がある。したがって、口腔内固定として②が適切である。③や④は適切とはいえない。

【問題 68】 トレーの写真（別冊午後No.29）を別に示す。

ゲルタイプのフッ化物製剤に使用するものはどれか。2つ選べ。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え ad

- a ①はフッ化物歯面塗布のトレー法に用いるスポンジトレーである。ゲルタイプのフッ化物製剤に使用する。
- × b ②はフッ化物歯面塗布のイオン導入法に用いるイオントレーである。
- × c ③は印象採得に用いる個人トレーである。
- d ④はフッ化物歯面塗布のトレー法に用いる既成のディスプレイトレーである。ゲルタイプのフッ化物製剤に使用する。

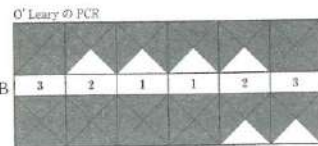
【問題 69】 65 歳の男性。歯の着色を主訴として来院した。20 歳頃から 40 年以上喫煙しているという。慢性歯周炎と診断され、歯周治療を開始することになった。初診時の口腔内写真（別冊午後 No. 30）、歯周組織検査および O'Leary の PCR の一部の図（別冊午後 No. 31A、B）を別に示す。

歯科衛生士が行う処置で、主訴の改善が期待できるのはどれか。2つ選べ。

- a SRP
- b PMTC
- c 歯肉マッサージ
- d フッ化物歯面塗布

歯石沈着	+	+	+	+	-	-
PPD(mm)	④ 3 ③ ④ 2 ③ ② 3 2 ③ ③ ② ③ ③ ④	④ 3 ③ ④ ④ ③ ④ ④ ③ ③ ③ ④ ④ ③ ④ ④ ④ ④				
歯 種	3	2	1	1	2	3
PPD(mm)	④ 3 ③ ③ 2 3 ④ ④ ④ ③ ④ ③ ② ③ ③ ③ ③	③ 2 ④ ④ 2 ③ ④ ③ ③ ③ ② ② ② ② ③ ② ③				
歯石沈着	+	+	+	+	-	+

○印：ブローピング時の出血



【問題 70】 エックス線画像（別冊午後 No. 32）を別に示す。

観察できるのはどれか。2つ選べ。

- a う 蝕
- b 歯 石
- c 外部吸収
- d 根尖病巣



【問題 71】 17 歳の女子。学校歯科健康診断で受診を勧められ来院した。自覚症状はないという。初診時の口腔内写真（別冊午後 No. 33）を別に示す。

観察される付着物の原因と考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a う 蝕
- b 飲食物
- c 歯肉出血
- d 口腔清掃習慣



【問題 72】 46 歳の女性。上顎左側第一大臼歯部のブラッシング時の出血を主訴として来院した。慢性歯周炎と診断され、歯周基本治療を行った。初診時と歯周基本治療終了時の歯周組織検査結果の一部を図に示す。

		初診時			歯周基本治療終了時		
頰 側	歯肉退縮量(mm)	2	3	2	4	3	2
	PPD(mm)	⑥	3	3	3	3	3
歯 種		26			26		
口 舌 側	PPD(mm)	⑤	3	3	3	3	3
	歯肉退縮量(mm)	2	2	3	3	2	3
動揺度 (Miller の分類)		0			0		
根分岐部 (Lindhe & Nyman の分類)		1			1		

○印：ブローピング時の出血

改善されたのはどれか。2つ選べ。

- a 歯の動揺
- b 根分岐部病変
- c 歯周ポケット内面の炎症
- d ポケットブローピングデプス

答え a b

○a、○b、×c、×d 歯の着色を主訴としているが、写真をみると、歯にステインや歯石が付着しているのがわかる。したがって、歯科衛生士が行う処置で、主訴の改善が期待できるのは SRP および PMTC である。歯肉マッサージやフッ化物歯面塗布では、主訴の改善は期待できない。

答え a b

○a 下顎右側側切歯の歯頸部にう蝕が観察できる。
○b 下顎右側犬歯の歯根面に歯石が観察できる。
×c、×d 外部吸収や根尖病巣は観察できない。

答え b d

×a、○b、×c、○d 写真をみると、下顎前歯部舌側に歯石が付着しているのがわかる。したがって、付着物の原因と考えられるのは、飲食物および口腔清掃習慣である。う蝕や歯肉出血が原因とは考えにくい。

答え c d

×a 初診時と歯周基本治療終了時の歯周組織検査結果を比較すると、動揺度はどちらも 0 度で変化がみられない。
×b 初診時と歯周基本治療終了時の歯周組織検査結果を比較すると、Lindhe & Nyman の分類はどちらも 1 度で変化がみられない。
○c 初診時と歯周基本治療終了時の歯周組織検査結果を比較すると、初診時の上顎左側第一大臼歯近心部にブローピング時の出血がみられるが、歯周基本治療終了時にはみられず、歯周ポケット内面の炎症が改善されたと考えられる。
○d 初診時と歯周基本治療終了時の歯周組織検査結果を比較すると、初診時の上顎左側第一大臼歯近心部の PPD は 5~6mm であり、歯周基本治療終了時には 3mm となっているため、ポケットブローピングデプスが改善されている。

【問題 73】 研磨用ラバーポイント（コーン）の操作法の写真（別冊午後 No. 34）を別に示す。

適切なのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



【問題 74】 50 歳の男性。口腔内の異変に気付いて来院した。ある薬剤を長期服用しているという。初診時の口腔内写真（別冊午後 No. 35）を別に示す。

考えられる薬剤はどれか。2つ選べ。

- a アンピシリン
- b ニフェジピン
- c シクロスポリン A
- d テトラサイクリン塩酸塩



答え b c

×a、○b、○c、×d 口腔内の異変を主訴としているが、写真をみると、乳頭歯肉が腫れているのがわかる。ある薬剤を長期服用しているとのことであり、考えられる薬剤は長期服用で歯肉増殖が生じるニフェジピンやシクロスポリン A である。アンピシリンやテトラサイクリン塩酸塩で歯肉腫脹が生じるとは考えにくい。

【問題 75】 フッ化物洗口法とフッ化物配合歯磨剤の両方に用いられるのはどれか。1つ選べ。

- a NaF
- b CaF₂
- c SnF₂
- d Na₂PO₃F

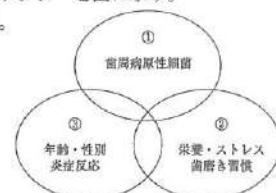
答え a

○a NaF はフッ化ナトリウムである。フッ化物洗口法とフッ化物配合歯磨剤の両方に用いられる。
×b CaF₂ はフッ化カルシウムである。フッ化物洗口法やフッ化物配合歯磨剤には用いられない。
×c SnF₂ はフッ化第一スズである。フッ化物配合歯磨剤には用いられないが、フッ化物洗口法には用いられない。
×d Na₂PO₃F はモノフルオロリン酸ナトリウムである。フッ化物配合歯磨剤には用いられるが、フッ化物洗口法には用いられない。

【問題 76】 歯周病のリスクファクターを図に示す。

③に分類されるのはどれか。

- 1つ選べ。
- a 学 歴
- b 喫 煙
- c 食習慣
- d 糖尿病



答え d

×a、×b、×c、○d 歯周病のリスクファクターは細菌因子と宿主因子、環境因子に分けられる。③は年齢や性別などであることから宿主因子であると判断できるため、歯周病の宿主因子である糖尿病が③に分類されるものとなる。なお、①は細菌因子、②は環境因子である。

【問題 77】 歯肉炎指数（GI）測定のため、歯周プローブで触知した直後の口腔内写真（別冊午後 No. 36）を別に示す。

判定スコアはどれか。1つ選べ。

- a 0
- b 1
- c 2
- d 3



答え b

×a GI の判定スコア 0 は正常な歯肉である。
○b GI の判定スコア 1 は軽度の歯肉炎で、わずかな色調変化が認められ、ブローピングで出血しない状態である。写真から判定スコア 1 であると考えられる。
×c GI の判定スコア 2 は中等度の歯肉炎で、発赤、浮腫、腫脹が認められる。ブローピングで出血がある。
×d GI の判定スコア 3 は高度の歯肉炎で、著明な発赤と腫脹が認められ、自然出血の傾向がある。

【問題 78】 58歳の男性。上の奥歯がぐらついて食事がとりづらくなったことを主訴として来院した。半年前から上顎右側臼歯部に動揺があるという。全身疾患の既往歴はない。患者との会話を示す。

歯科衛生士：タバコが歯周病を悪化させることはご存知ですか。
患者：この前テレビでやってたのを見たよ。奥歯がぐらついてきたし、やっぱりタバコやめないとダメかなと思ってたところなんだ。

歯科衛生士：とてもよい気づきをされたと思います。禁煙するとしたら、いつぐらいから始めようと思っ
ていますか。

患者：仕事も落ち着いてきたし、できれば今月中に始めようかなと思っ
ているけど。

この患者の禁煙ステージはどれか。1つ選べ。

- a 無関心期 b 関心期 c 準備期 d 実行期

答え c

× a 無関心期は6か月以内に行動を変えようと思っていない時期である。

× b 関心期は6か月以内に行動を変えようと思っている時期である。

○ c 準備期は1か月以内に行動を変えようと思っ
ている時期である。患者が「今月中に始めようかな」と発言しているため、この患者の禁煙ステージは準備期と考えられる。

× d 実行期は行動を変えて6か月未満の時期である。

【問題 79】 65歳の男性。上顎癌のため放射線治療を受けている。口腔粘膜炎を発生したため、歯科医師から口腔衛生管理を行うよう指示された。口腔内写真(別冊午後No.37)と口腔内症状の表(別冊午後No.38)を別に示す。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a アイスマッサージの実施
b 軟らかい歯ブラシの使用
c キシロカイン含有含嗽剤の使用
d 接触痛のある部位の清掃の回避



口腔内症状	接触痛
	嚥下時に軽度の疼痛
	粘着性の高い唾液の貯留

答え bc

× a アイスマッサージは摂食嚥下障害に対する間接訓練である。嚥下時に軽度の疼痛がみられるが摂食嚥下障害ではないため、アイスマッサージを行う必要はない。

○ b、○ c 口腔内写真から口腔粘膜炎がみられ、口腔内症状から接触痛があるため、軟らかい歯ブラシの使用やキシロカイン含有含嗽剤の使用が適切と考えられる。

× d 口腔内写真から口腔粘膜炎がみられ、口腔内症状から接触痛はあるが、接触痛のある部位の清掃を回避する必要はない。

【問題 80】 OHIを用いた歯石沈着状況の結果を表に示す。

CIはどれか。1つ選べ。

- a 2
b 4
c 12
d 24

		CI			合計
		右臼歯部	前歯部	左臼歯部	
上顎	頬側	2	1	2	5
	舌側	3	1	3	
下顎	頬側	2	2	1	5
	舌側	3	2	2	
合計		4	3	3	7

答え b

× a、○ b、× c、× d 上顎頰側のCI合計が5、上顎舌側のCI合計が7、下顎頰側のCI合計が5、下顎舌側のCI合計が7のため、 $CI = (5 + 7 + 5 + 7) / 6 = 4$ となる。

【問題 81】 78歳の男性。定期健診のため来院した。歯科医師から口腔衛生指導を行うよう指示を受けた。口腔内写真(別冊午後No.39)を別に示す。

上下顎補綴装置の清掃に共通するのはどれか。1つ選べ。

- a 歯間ブラシ
b タフトブラシ
c スーパーフロス
d スポンジブラシ



答え b

× a 口腔内写真から上顎補綴装置に空隙はみられず、歯間ブラシは使用しにくい。上下顎補綴装置の清掃に共通する清掃用具ではない。

○ b 口腔内写真から上顎補綴装置の隣接面に汚れがみられ、下顎の補綴装置周囲にも汚れがみられるため、上下顎補綴装置の清掃に共通するのはタフトブラシである。

× c 口腔内写真から上顎補綴装置に空隙はみられず、スーパーフロスは使用しにくい。上下顎補綴装置の清掃に共通する清掃用具ではない。

× d 口腔内写真から上顎補綴装置に対してスポンジブラシは適用とはならないため、上下顎補綴装置の清掃に共通する清掃用具ではない。

【問題 82】 73歳の男性。心筋梗塞の開胸手術後1日目で、経鼻経管栄養と酸素投与を受けている。主治医と連携している歯科医師から口腔健康管理を依頼された。

適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 頭部を後屈させる。
b 咳嗽反射を確認する。
c 覚醒状態を確認する。
d セミファアラ位で行う。

答え cd

× a 頭部を後屈させると誤嚥しやすくなるため、頭部は前屈させる。

× b 不顕性誤嚥の既往はみられないため、咳嗽反射を確認する必要はない。

○ c 心筋梗塞の開胸手術後1日目のため、誤嚥を予防するために覚醒状態を確認する。

○ d 誤嚥を予防するために口腔健康管理をセミファアラ位で行うことが適切である。

【問題 83】 介護保険施設から介護職員を対象とした口腔ケアに関する講話を依頼された。入所者のBDR指標の評価を表に示す。講話の内容として適切なのはどれか。2つ選べ。

	自立度		
	a	b	c
B	0人	4人	6人
D	0人	5人	5人
R	0人	2人	8人

- a うがいの効果
b 義歯着脱方法
c 洗口剤の種類
d ブラッシング方法

答え bd

× a、× c 「R」の自立度がb 2人、c 8人のため、うがい方法の講話を行う必要はあるが、うがいの効果や洗口剤の種類を講話する必要はない。

○ b 「D」の自立度がb 5人、c 5人のため、義歯着脱方法の講話が適切である。

○ d 「B」の自立度がb 4人、c 6人のため、ブラッシング方法の講話が適切である。

【問題 84】 幼稚園から4歳児を対象とした健康教育の依頼を受けた。

保健活動計画作成における一般的配慮事項として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 保護者主体で行う。
b 文字情報を中心にする。
c 園児の個人差に配慮する。
d 具体的なねらいや内容を明確に設定する。

答え cd

× a 4歳児は話文構造が確立しているため、保護者主体で行う必要はない。

× b 4歳児は文字の読み書きが不十分のため、文字情報ではなく図や絵などを中心にする。

○ c 4歳児は発達途上であり個人差が激しいため、園児の個人差に配慮する必要がある。

○ d 4歳児に対して多くの情報を与えても理解できないため、具体的なねらいや内容を明確に設定する必要がある。

【問題 85】 地域のソーシャルキャピタルを評価するために有用なのはどれか。1つ選べ。

- a 在宅療養支援歯科診療所の数
b 介護ボランティア団体の活動状況
c 人口10万人あたりの介護従事者の数
d 訪問歯科診療を受診している要介護者の割合

答え b

× a 在宅療養支援歯科診療所の数から地域保健活動を行っているかは評価できないため、地域のソーシャルキャピタルを評価できない。

○ b 介護ボランティア団体の活動状況がわかれば、地域保健活動の状況が判断できるため、地域のソーシャルキャピタルの評価に有用である。

× c 人口10万人あたりの介護従事者の数から地域保健活動を行っているかは評価できないため、地域のソーシャルキャピタルを評価できない。

× d 訪問歯科診療を受診している要介護者の割合から地域保健活動を行っているかは評価できないため、地域のソーシャルキャピタルを評価できない。

【問題 86】 20歳の女性。矯正歯科治療のリコール時の口腔内写真(別冊午後No.40)を別に示す。

歯ブラシとともにブラークコントロールに用いるのはどれか。1つ選べ。

- a 口腔洗浄器
b タフトブラシ
c スポンジブラシ
d デンタルフロス



答え b

× a、× c 口腔内写真から歯ブラシとともに口腔洗浄器やスポンジブラシをブラークコントロールに用いる必要はない。

○ b 口腔内写真から下顎前歯部舌側に犬歯-犬歯間保定装置が装着されているため、歯ブラシとともにタフトブラシをブラークコントロールに用いる。

× d 口腔内写真から下顎前歯部舌側に犬歯-犬歯間保定装置が装着されているため、デンタルフロスを使用するのは困難である。

【問題 87】 A県B市のコミュニティセンターを利用している就学前の子どもの保護者を対象に口腔の健康教室を行うことになった。A県全体とB市の一人平均df歯数とう歯を持つ児の割合を表に示す。

健康教室のテーマとして適切なのはどれか。1つ選べ。

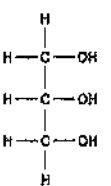
	一人平均df歯数		う歯を持つ児の割合
	A県全体	B市	
a 外食	1.8本	2.8本	30.2%
b 過食			41.4%
c 間食			
d 孤食			

答え c

× a、× b、○ c、× d A県全体の一人平均df歯数が1.8本でう歯を持つ児の割合が30.2%なのに対して、B市は一人平均df歯数が2.8本と1.0本大きく、う歯を持つ児の割合が41.4%と11.2%大きい。健康教室のテーマとして「間食」が適切である。

【問題 88】 五大栄養素の1つの分子構造の一部を図に示す。
この構造を持つのはどれか。1つ選べ。

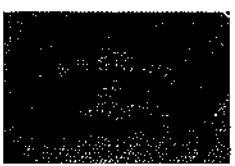
a 脂質
b 糖質
c ビタミン
d ミネラル



答え a
○a、×b、×c、×d 図はグリセロールである。脂質は中性脂肪(トリグリセリド)とコレステロールから構成され、中性脂肪は脂肪酸とグリセロールから構成される。

【問題 89】 3歳6か月の男児。3歳児歯科健康診査でう蝕罹患率がB型と判定され来院した。1歳6か月児歯科健康診査では、歯の萌出が遅いことを指摘されたという。口腔内写真(別冊午後No.41)を別に示す。
食生活指導にあたって、確認すべき項目はどれか。2つ選べ。

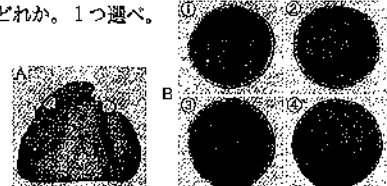
a 食事量
b 哺乳瓶の使用
c 間食の摂取状況
d 舌手な食べ物の数



答え bc
×a、×d 口腔内写真から食事量や舌手な食べ物の数を確認すべき症状はみられない。
○b、○c 口腔内写真から上顎前歯部唇側面にう蝕がみられるため、食生活指導にあたり哺乳瓶の使用や間食の摂取状況を確認すべきである。

【問題 90】 73歳の男性。1年前に脳卒中を発生したという。退院後、食事がうまくいかないということで特殊な調理を行った上顎の義歯を製作した。義歯の写真(別冊午後No.42A)と、入居している施設で提供可能な食事の写真(別冊午後No.42B)を別に示す。
適切な食形態はどれか。1つ選べ。

a ①
b ②
c ③
d ④



答え c
×a、×b、○c 義歯の写真は舌接触補助床であり、食塊形成がうまくできないと考えられるため、食塊形成が行いやすい食形態(③)が適切である。
×d 食事がうまくいかない状況であるが、舌接触補助床を製作しており、食塊形成がうまくできるように訓練する必要があるため、現時点でペースト食は適切ではない。

【問題 91】 成人期の摂食嚥下機能障害の維持期に対する口腔機能管理はどれか。2つ選べ。

a 歯列咬合の回復
b 終末期の経口摂取支援
c 摂食嚥下機能の再獲得
d 発達段階を考慮した機能獲得

答え ac
○a、○c 歯列咬合の回復や摂食嚥下機能の再獲得は成人期の摂食嚥下機能障害の維持期に対する口腔機能管理である。
×b 終末期の経口摂取支援は終末期の摂食嚥下機能障害に対する口腔機能管理である。
×d 発達段階を考慮した機能獲得は発達期(乳幼児期)の摂食嚥下機能障害に対する口腔機能管理である。

【問題 92】 重度脳性麻痺の患児で成長しても消失しない原始反射はどれか。2つ選べ。

a 咬反射
b 驚愕反射
c 捕握反射
d 口唇探索反射

答え ab
○a、○b 重度脳性麻痺の患児では成長しても原始反射が残ることがあり、咬反射や驚愕反射は消失しない原始反射である。
×c、×d 捕握反射や口唇探索反射は哺乳反射のため、重度脳性麻痺の患児でも成長すると消失する原始反射である。

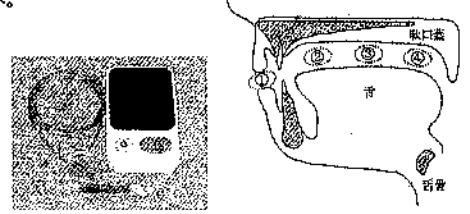
【問題 93】 全身麻酔の気管挿管時に用いるマウスガードで予防できるのはどれか。2つ選べ。

a 歯の脱臼
b 喉頭鏡の破損
c 食道への誤挿管
d 気管チューブの破損

答え ad
○a、○d 全身麻酔の気管挿管時にマウスガードを用いることで、歯の脱臼や咬合による気管チューブの破損を予防することができる。
×b、×c 全身麻酔の気管挿管時にマウスガードを用いても、喉頭鏡の破損や食道への誤挿管は予防できない。

【問題 94】 口腔機能を測定する機器の写真(別冊午後No.43)と、測定部位の図(別冊午後No.44)を別に示す。
測定部位で正しいのはどれか。1つ選べ。

a ①
b ②
c ③
d ④



答え b
×a、○b、×c、×d 口腔機能を測定する機器の写真は舌圧測定器である。舌圧測定器の舌圧プローブを患者の口腔内に挿入し、患者に舌圧プローブの硬質リングを前歯部で軽く把持させ、舌でバルーンを圧迫して最大の力で口蓋前部(②)に押し付けさせる。

【問題 95】 エナメル質形成不全を伴うのはどれか。2つ選べ。

a Down症候群
b 外胚葉異形成症
c 下垂体機能低下症
d ビタミンA欠乏症

答え bd
×a、×c Down症候群や下垂体機能低下症ではエナメル質形成不全はみられない。
○b エナメル質は外胚葉由来のため、外胚葉異形成症ではエナメル質形成不全がみられる。
○d ビタミンAは硬組織の石灰化に関与しているため、ビタミンA欠乏症ではエナメル質形成不全がみられる。


【問題 96】 乳幼児の歯科診療は、①生後が望ましい。治療時は②フォーハンドシステムを応用し、③テンドーラビングケアという基本理念に基づいて行動する。器材の受け渡しは安心感を与えるため④顔面上で行う。
下線部分で正しいのはどれか。2つ選べ。

a ①
b ②
c ③
d ④

答え bc
×a 乳幼児の歯科診療は、身体的疲労の少ない午下が望ましい。
○b 乳幼児の歯科診療では、安全面と効率化を考慮すると、術者1人で治療するのではなく、補助者とともにフォーハンドシステムで行うのが原則である。
○c テンドーラビングケア(やさしく愛情をもった対応)という基本理念に基づいて行動する。
×d 顔面上での器材の受け渡しは危険である。また、恐怖心を与えないため、患児の見えないヘッドレストの後方および下方、顎の下方で受け渡す。

【問題 97】 歯科医師から軟化象牙質除去の準備を行うよう指示があった。回転切削具の写真(別冊午後No.45)を別に示す。
使用するものはどれか。1つ選べ。

a ① b ② c ③ d ④



答え a
○a ①はラウンドバーである。用途はう窩の開拓、軟化象牙質の除去、髓腔穿孔である。
×b ②はゲイツグリデンドリルである。用途は根管口明示、根管拡大である。
×c ③はホワイトポイントである。用途はコンポジットレジンやグラスアイオノマーセメントの形態修正、研磨である。
×d ④はカーボラダムポイントである。用途は咬合調整や歯冠修復物の形態修正である。


【問題 98】 歯科用合金と比較したセラミックスの特徴はどれか。2つ選べ。

a 衝撃に強い。
b 熱伝導率が小さい。
c 塑性変形がみられる。
d 生物学的安定性が高い。

答え bd
×a セラミックスは衝撃に弱い。
○b セラミックスは熱伝導率が小さい。
×c セラミックスは塑性変形がみられない。
○d セラミックスは生物学的安定性が高い。

【問題 99】 口腔内に装着した器具の写真(別冊午後No.46)を別に示す。
この目的はどれか。1つ選べ。

a 隔壁
b 防湿
c 歯間分離
d 歯肉排除



答え c
×a 隔壁には、タッフルマイヤー・リテーナー、マトリックスバンド、ウェッジなどを用いる。
×b ラバーダム防湿には、クランプ、クランプフォーセップス、ラバーダムパンチ、ヤングのフレイムなどを用いる。
○c 写真はフェリアーのセパレーターである。歯間分離が目的である。
×d 歯肉排除には、圧排糸、ジンパッカーなどを用いる。

【問題 100】 寒天アルジネート連合印象採得直後の感染対策として、水洗後に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 熱湯による洗浄
- b 強圧エアによる乾燥
- c 80%アルコールでの清拭
- d 1.0%次亜塩素酸ナトリウム溶液への浸漬

【問題 101】 模型の写真(別冊午後 No.47)を別に示す。正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 普通石膏を使用する。
- b 歯槽基底部まで再現する。
- c 口蓋縫線を正中の目安とする。
- d 基底面はフランクフルト平面と平行にする。



【問題 102】 11歳の女児。う蝕治療のため保護者と来院した。てんかんの既往歴があるという。治療中に突然意識を消失し、欠伸発作を起こした。適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 部屋を明るくする。
- b 酸素吸入の準備をする。
- c バックレストを起こす。
- d 口腔内の器具を取り除く。

【問題 103】 エックス線画像(別冊午後 No.48)を別に示す。矢印で示す部分の原因はどれか。1つ選べ。

- a 照射時間設定の誤り
- b フィルムの裏返し撮影
- c エックス線管の位置づけ不良
- d 同一フィルムによる二重撮影



【問題 104】 下顎右側第一大臼歯にCAD/CAMシステムで製作したクラウンの装着を行っている。デュアルキュア型レジンセメントを冠内面に塗布し、支台歯に圧接した直後の口腔内写真(別冊午後 No.49)を別に示す。続いて歯科医師に手渡すのはどれか。1つ選べ。

- a 咬合紙
- b 光照射器
- c コンタクトゲージ
- d クラウンリムーバー



【問題 105】 32歳の男性。下顎左側第三大臼歯を下顎孔伝達麻酔下で抜去した。当日の患者指導で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 今日は入浴してもかまいません。
- b 今日は激しい運動は控えてください。
- c 唇や舌を噛まないように注意してください。
- d 出血が気になるときは強くうがいをしてください。

答え d

- × a 熱湯による洗浄では感染対策として不十分である。さらに印象精度も劣ることになる。
- × b 強圧エアによる乾燥は感染対策にはならない。
- × c 印象体を清拭すると変形してしまう。
- d 1.0%次亜塩素酸ナトリウム溶液への印象体の浸漬が感染対策として有効である。

答え bc

- × a 写真は矯正治療で用いられる平行模型である。平行模型には硬質石膏や超硬質石膏を使用する。
- b 平行模型では歯槽基底部まで再現する。
- c 平行模型では口蓋縫線を正中の目安とする。
- × d 平行模型の基底面は咬合平面と平行にする。

答え d

- × a 診療室内には暗くないので、わざわざ部屋を明るくする必要はない。
- × b 呼吸困難は認められないので、現段階では酸素吸入の準備は不要である。
- × c、○ d 診療台(デンタルチェア)の背板(バックレスト)を起こさず、まずは治療を中止し、口腔内の器具を取り除いて、気道を確保する。

答え c

- × a 照射時間設定を誤ると、白すぎる、あるいは黒すぎる画像になる。
- × b フィルムの裏返し撮影を行うと、フィルムの鉛箔にエンボスが付加されているので画像にドットの模様が見れる。
- c 矢印の部分はエックス線が照射されていないので白く見える。これをコーンカットという。エックス線管の位置づけ不良が原因である。
- × d 同一フィルムによる二重撮影を行うと、前回撮影した画像が写り込む。

答え b

- × a 咬合紙はクラウンの咬合調整に用いる。
- b クラウンマージン部に数秒間、光照射する。余剰セメントをある程度硬化させて、探針やシックルスケラーで除去する。
- × c コンタクトゲージはクラウンの隣接面接触調整に用いる。
- × d クラウンリムーバーは装着前の調整時に用いる。

答え bc

- × a、○ b 入浴や運動は血行を促進するので、当日の入浴と激しい運動は控えてもらう。
- c 局所麻酔が奏功していると、唇、舌、頬粘膜などに感覚がないので、咬傷に注意してもらう。
- × d 強うがいがいと血餅が取れて再出血する可能性が高いので、出血が気になるときは強い含嗽は避けて、ガーゼを噛んでもらう。

【問題 106】 81歳の女性。歯科診療所の待合室で突然倒れ、意識がなくなった。歯科衛生士が心肺蘇生を行った上で、AEDが必要と判断し、装着した。AEDの心電図解析時も①人工呼吸を続け、「電気ショックは不要です」の音が出たため、②電極パッドを剥がし、③ただちに胸骨圧迫を再開した。その後、意識を取り戻したため、④胸骨圧迫を中止した。下線部分で正しいのはどれか。2つ選べ。

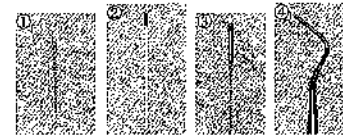
- a ① b ② c ③ d ④

【問題 107】 患者を水平位にしてミラーを使用した口腔内写真を撮影する場合、部位と撮影者のポジショニングの組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 上顎咬合面観 ——— 3時
- b 下顎咬合面観 ——— 8時
- c 右側側面観 ——— 12時
- d 左側側面観 ——— 9時

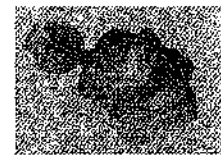
【問題 108】 35歳の男性。下顎左側第一小臼歯の側方加圧根管充填を行うことになった。使用する器具と材料の写真(別冊午後 No.50)を別に示す。根管内にシーラーを送り込むために使用するのどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



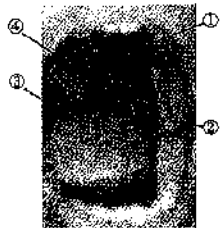
【問題 109】 歯科医師の指示により上顎右側中切歯に取製冠を使用してプロビジョナルレストレーションを製作することになった。常温重合レジンを送りつけ支台歯に圧接し、撤去した直後の写真(別冊午後 No.51)を別に示す。この後に使用するのどれか。2つ選べ。

- a 温湯
- b レジン分離材
- c 接着性レジンセメント
- d 技工用カーバイドバー(スタンプバー)



【問題 110】 口腔内写真(別冊午後 No.52)を別に示す。嘔吐反射を誘発する部位はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え cd

- × a 心電図の解析時は傷病者に触れないように離れる。
- × b 意識を回復したとしても電極パッドは救急隊が到着するまで剥がさない。
- c 「電気ショックは不要です」の音が出たときは、ただちに胸骨圧迫を再開する。
- d 意識を回復したら胸骨圧迫を中止する。

答え bd

- × a 上顎咬合面観の撮影では、撮影者ポジショニングは12時、患者ポジショニングは水平位で行う。
- b 下顎咬合面観の撮影では、撮影者ポジショニングは8時、患者ポジショニングは水平位で行う。
- × c 右側側面観の撮影では、撮影者ポジショニングは3時、患者ポジショニングは斜位で行う。
- d 左側側面観の撮影では、撮影者ポジショニングは9時、患者ポジショニングは斜位で行う。

答え c

- × a ①はガッタパーチャポイントのアクセサリポイントである。アクセサリポイントはマスターポイントを根管内に適合させた時の空隙に補助的に使用する。
- × b ②はペーパーポイントである。根管を乾燥させるために使用する。
- c ③はレントツロである。根管内にシーラーを送り込むために使用する。
- × d ④はプラグである。垂直加圧根管充填のために使用する。

答え ad

- a 常温重合レジンを盛りつけ支台歯に圧接し、撤去した直後は、まず温湯に浸漬して重合を完了させる。
- × b レジン分離材は常温重合レジンを圧接する前に支台歯に塗布しておく。
- × c プロビジョナルレストレーションは仮着するので、接着性レジンセメントは用いない。
- d 重合完了後、技工用カーバイドバー(スタンプバー)を用いて、プロビジョナルレストレーションの辺縁形態を修正する。

答え cd

- × a ①は硬口蓋部である。嘔吐反射を誘発しない部位である。
- × b ②は白後三角である。下顎第二大臼歯部から白後三角の部分は嘔吐反射を誘発しないので、バキュームチップによる吸引に適している。
- c、○ d ③は舌根部で、④は軟口蓋部である。舌根部、軟口蓋部、咽頭部は嘔吐反射を誘発する部位である。